



SAQ 5.0

Version number SAQ 5.0

Stage 回答

Questions 24

Language 日本語 (ja)

Last updated Nov-04-22



回答

はじめに

SAQ 5.0について

SAQは、SUPPLIERASSURANCEプラットフォーム上で、以下の3つの段階を経て完了となります²⁾

1. **R** 回答²⁾Responding²⁾

自己評価アンケートであるSAQ 5.0では、次のセクションがカバーされています²⁾企業運営、人権および労働条件、安全衛生、企業倫理、環境、責任あるサプライチェーンマネジメント、責任ある原材料調達。

SAQ 5.0を完了するには、上記のセクションで多くの質問に回答する必要があります。うち、特定のセクションは、NACE[®]で分類された御社の業種に応じて回答が必須となります。それ以外のセクションは、御社の業種では回答は任意となりますが、「SAQ 5.0評価」に影響します。

SAQの質問に回答する際に、回答の裏付けとなる証拠をアップロードするよう求められることがあります。アップロードする証拠は、各質問で設定されている、受付可能な証拠の基準を満たし、選択した回答を裏付ける必要があります。質問が評価される場合、当該質問の横には最大スコアが表示されます。

2. **V** 検証²⁾Validating²⁾

SupplierAssuranceチームにより、アップロードされた証拠が確実に受付可能な証拠の基準を満たしているか検証が行われます。証拠が基準を満たしていない場合、または選択された回答を適切にカバーしていない場合は、ギャップが指摘されます。提出した証拠でギャップが検出された場合はメールで通知されます。

3. **R** 結果²⁾Results²⁾

SAQの検証が終わると、その旨メールで通知されます。この時点でスコアのほか、アップロードした証拠で検出されたギャップ、改善のための推奨事項を含む結果を確認できます。その後、ギャップに対応するため、またはサステナビリティ関連パフォーマンスの改善を証明するために、SAQを更新することが可能です。

アカウントに既存のSAQがある場合は、こちらの回答を再使用できます。新規の事業所に関連のある回答のみを見直して変更、提出できるため、時間を最小限に抑えられます。

[回答を再使用したいSAQを選択](#)

ガイダンス

Drive Sustainabilityは2022年、広く普及しているSAQを改訂し、新たにSAQ 5.0が導入されました。SAQ 4.0からSAQ 5.0への変更の概要については[こちら](#)からアクセスしてください。

アンケートのPDFは[こちら](#)からダウンロードできます。

企業の社会的責任²⁾CSR²⁾/サステナビリティ²⁾持続可能性²⁾とは、企業が環境・社会・ガバナンス²⁾ESG²⁾のそれぞれのトピックを経営戦略、業務、サプライチェーンに組み込むプロセスです。

Drive Sustainabilityでは、自動車産業のサプライヤーに対する、CSR/サステナビリティの主要分野での最低限の期待事項の概要をまとめた、共通ガイドライン - 「[基本原則](#)」 - を定めています。その内容は、社会、環境、ガバナンスに配慮した基本原則に基づいており、適用法や国際基準²⁾国連のビジネスと人権に関する指導原則、ILOの条約、OECD多国籍企業行動指針、環境と開発に関するリオ宣言、パリ協定を含む²⁾と方向性を共有するものです。

この自己評価アンケート²⁾SAQ²⁾は「基本原則」に沿って、組織による業務の統制、目標達成、継続的な改善の確保を後押しするポリシー、プロセス、部門、手段、内部統制の評価と検証を通じて、CSR/サステナビリティの各トピックにおけるサプライヤーのコンプライアンスを示し、確認することを目的としています。

自己評価アンケートは、Drive Sustainability - [自動車業界のパートナーシップ](#)のメンバーにより2014年に作成され、2022年*に改訂されました。現在、メンバーのうち13社**が利用しており、CSR/サステナビリティ活動関連の標準的な質問への回答において、重複を回避し、効率化を図る狙いがあります。

*2022年現在の活動グループのメンバー²⁾BMWグループ、ダイムラー・トラックAG、フォード、ホンダ、ジャガー・ランドローバー、メルセデス・ベンツAG、スカニアCV AB、ステランティス、トヨタモーターヨーロッパ、フォルクスワーゲングループ、ボルボ・カー、ボルボグループ。

**SAQを利用するOEM²⁾BMWグループ、ダイムラー・トラックAG、フォード、ホンダ、ジャガー・ランドローバー、メルセデス・ベンツAG、ポルスター、スカニアCV AB、ステランティス、トヨタモーターヨーロッパ、フォルクスワーゲングループ、ボルボ・カー、ボルボグループ。

回答

0. プロファイル情報

0a. このアンケート回答の対象となる事業所情報を入力してください

事業所の住所

事業所D-U-N-S番号

目的

この事業所に該当する目的をすべて選択してください。

管理業

鉱業/採取業

製造業

製錬業

精製/処理業

輸出/貿易業

物流業

0b. この事業所の従業員数を教えてください

0c. 最上レベルの親会社の住所情報を入力してください

親会社とは、対象となる工場/事業所の最上レベルの親会社を意味します。

事業所の住所

0d. グループ企業全体の従業員数を教えてください

グループ企業とは、親会社が最終的に所有し支配するグループ内のすべての会社を指しています。

ガイダンス

事業所のDUNS番号が分からない場合、以下の国または地域のリンクから1つを利用して検索することができます。

[ドイツ](#)

[アメリカ](#)

[中国](#)

[中南米](#)

[イギリス](#)

[その他の国または地域](#)

あるいは、住所を登録した事業所のSAQを入力している場合、DUNS番号は、ダッシュボードの組織名の下に表示されている可能性があります。SAQの回答を入力したい事業所のDUNS番号が見つからない場合は、ライブチャットを利用すると迅速なサポートを受けられます。



回答

0e. 御社の事業分野に最も当てはまる分類はどれですか?御社の主要分類を選択してください

御社の事業分野に最も当てはまる分類を2つまで選択できます。使用されている分類は、製品およびサービスの世界的な分類システムであるNACE®です。

ガイダンス

(ref:0e) NACE®は欧州共同体経済活動統計分類は、欧州における経済活動統計分類です。御社の事業分野が最も当てはまる分類に確信が持てない場合は、[こちら](#)で検索オプションをご利用ください。



選択する分類によって、ミニマム・スコープ必須の範囲が変わる可能性がありますので、十分に注意して選択してください。

01.00 - 作物・動物生産、狩猟及び関連サービス業

01.11 - 穀物(米を除く)、豆類及び採油用の種の栽培

01.12 - 米の栽培

01.13 - 野菜及びメロン、根菜及び塊茎の栽培

01.14 - さとうきびの栽培

01.15 - たばこの栽培

01.16 - 繊維性作物の栽培

01.19 - その他の非多年性作物の栽培

(+695その他のオプション)

回答

Of. この事業所で生産されているものに最も当てはまる商品分類を選択してください
検索フィールドを使用して商品分類の全リストを表示し、少なくとも1つを選択してください

回答

0g. 回答を入力したい質問を選択してください

SAQは以下のセクションで構成されています。先の質問0eで選択した業種に基づき、これらのセクションの1つ以上の質問が「**最小・スコープ**」必須の範囲とみなされ、回答は必須となります。

「**最小・スコープ**」に該当する質問にはデフォルトでチェックが入っており、選択は解除できず、「SAQ 5.0評価」に影響します。

「SAQ 5.0評価」は、最小・スコープ評価とサステナビリティスコアを組み合わせたものです。それ以外の質問は、御社の業種では回答は任意となりますが、サステナビリティスコアに影響します。これらの質問に回答する場合は以下のリストから選択してください。選択しないセクションは、アンケート全体を通じて表示されることはありません。

A. 企業運営 最大13問

担当責任者のほか、包括的なポリシーおよび報告書が対象となります。

1. 御社では、環境、社会、倫理または人権に関する上級管理職の担当者を任命していますか?

1a. 御社には、社会のサステナビリティ関連の担当責任者がいますか?

1b. 御社には、コンプライアンス/企業倫理関連の担当責任者がいますか?

1c. 御社には、環境のサステナビリティ関連の担当責任者がいますか?

1d. Does your company have a person to monitor sustainability risk management (e.g. a Human Rights Officer)?

2. 御社では、企業の社会的責任(CSR)/サステナビリティ報告書を発行していますか?

2a. 最新の報告書は、第三者保証を受けていますか?

2b.1. CSR報告書では、人権に関しどのような内容を開示していますか?

2b.2. CSR報告書では、環境に関しどのような内容を開示していますか?

2c. 御社では、前年度の法定デューディリジェンス義務の履行に関する報告例(ドイツのLkSG「サプライチェーンにおける企業のデューディリジェンス義務に関する法律」)を毎年行っていますか?

3. 御社には、行動規範がありますか?

3a. 行動規範について、従業員に対する研修を提供していますか?

4. 御社はこの事業所において、苦情処理メカニズムまたは文書化した苦情処理手続きを整備していますか?

4a. 御社の苦情処理メカニズムまたは苦情処理手続きにはどのような特徴がありますか?該当するものすべてにチェックを入れてください。

4b. どのような苦情を申し立てられますか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。

4c. 苦情処理メカニズムを通じて苦情を申し立てられるのは、どのステークホルダー・グループですか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。

4d. 苦情処理手続きを利用する権利を持つ、すべてのステークホルダー・グループに対して、当該手続きへのアクセスをどのように最適化していますか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。

このセクションにおけるその他すべての質問

B. 人権および労働条件 最大4問

労働者の人権尊重を目的とするポリシーと手続きをどの程度整備しているかが対象となります。

5. 御社には、人権および労働条件をカバーする正式なポリシーがありますか?

5a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか?

5b. 人権および労働条件ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか?

6. この事業所では、人権および労働条件の問題を管理するマネジメントシステムを導入していますか?

このセクションにおけるその他すべての質問

C. 安全衛生 最大4問

職場において、または職場から生じる危険性の評価と統制が対象となります。また、労働者に安全で健康的な労働環境を提供するためのポリシーと手続きをどの程度整備しているかも対象としています。

7. 御社では、現地の法律、業界の要件、国際的な基準に準拠した、正式に明文化した安全衛生ポリシーを導入していますか?

7a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか?

7b. 安全衛生ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか?

8. この事業所では、安全衛生マネジメントシステムを導入していますか?

このセクションにおけるその他すべての質問

D. 企業倫理 最大3問

コーポレートガバナンスのほか、現地の法律および国際法の順守が対象となります。また、最高水準の企業経営上のインテグリティを確保するポリシーや手続きをどの程度整備しているかも対象としています。

9. 御社では、企業倫理に関する正式なポリシーを導入していますか?

9a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか?

9b. 企業倫理ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか?

E. 環境 最大15問

ポリシーやマネジメントシステムの導入を通じた環境保護が対象となります。また、環境責任に対する積極的なアプローチを後押しするポリシーや手続きをどの程度整備しているかも対象としています。

10. 御社には、法令順守のほか、環境関連パフォーマンスにおける継続的な測定・改善へのコミットメントなどを含む、正式な環境ポリシーがありますか?

10a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか?

10b. 環境ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか?

11. この事業所では、環境マネジメントシステムを導入していますか?

12. この事業所には、エネルギーマネジメントシステムがありますか?

13. 前年にこの事業所で使用された電力のうち、再生可能資源によるものは何パーセントを占めましたか?

14. 前年にこの事業所で使用された冷暖房のうち、再生可能資源によるものは何パーセントを占めましたか?

15. Does your company set Greenhouse Gas reduction targets?

15a. 当該目標は「科学に基づく目標設定イニシアチブ(SBTi)」による認定を取得していますか?

15b. 御社では、上流サプライチェーンの排出量スコープ3について、排出削減目標を設定していますか?

16. この事業所では、生産または運営において、国内・国際的な法規定の下で規制を伴う物質を使用していますか?

16a. この事業所では、何らかの法規の下で規制を伴う物質の管理手順を明文化していますか?

16b. 明文化した当該手順では、以下のどの分野がカバーされていますか?

16c. この事業所では、以下のいずれかの法規の下で規制を伴う物質の管理手順を明文化していますか?

17. 御社には現在CDPスコアがありますか?

17a. 気候変動に関連するCDPスコアを教えてください。

17b. 水に関連するCDPスコアを教えてください。

17c. フォレストに関連するCDPスコアを教えてください。

このセクションにおけるその他すべての質問

11. Does your site have an environmental management system in place?

16. Does your site use any substances with restrictions under any national or international statutory provision in production or operations?

F. 責任あるサプライチェーンマネジメント 最大6問

企業のサプライチェーンにおける上記の全分野でのコンプライアンスが対象となります。また、当該分野が企業のサプライヤーに正式にどの程度要求され、かつどのように周知されているのかも対象としています。

18. 御社では、サプライヤーに対するCSR/サステナビリティ要件を定めていますか?

18a. 当該CSR/サステナビリティ要件は、どの分野をカバーしていますか?

18b. 御社では、サプライヤーに対するCSR/サステナビリティ要件を、サプライヤーに周知する際に、以下のいずれかの手段を利用していますか?

18c. 御社では、サプライヤーが御社のサステナビリティ要件を満たしていることを確認するために、どのようなプロセスを導入していますか?

19. 御社では、デューデリジェンス活動の一環として、サステナビリティを巡るリスク評価を実施していますか?

19a. リスク評価の範囲を教えてください。

19b. 御社では、リスク評価をどのくらいの頻度で実施していますか?

このセクションにおけるその他すべての質問

G. 責任ある原材料調達 最大7問

御社の製品で使用される原材料の調達先を把握するために実施されるデューデリジェンスが対象となります。また、原材料を巡りどの程度責任ある調達が行われているのかも対象としています。

20. 御社の製品には以下のいずれかの原材料が含まれていますか?

20a. 御社には、当該原材料を巡る責任ある調達のためのポリシーがありますか?

20a.1. 当該ポリシーは、以下のどの原材料をカバーしていますか?該当するものすべてにチェックを入れてください。

20b. 御社は、原材料に特化したイニシアチブに参加していますか?

20c. 御社には、企業を申告範囲とする紛争鉱物報告テンプレートCMRTがありますか?

20d. 御社には、企業を申告範囲とする拡張鉱物報告テンプレート
EMRTがありますか

21. 御社には責任ある原材料調達に関するマネジメントシステムがあ
りますか、またはサプライチェーン・マッピングを実施していますか

このセクションにおけるすべての質問

回答

A. 企業運営

1. 御社では、環境、社会、倫理または人権に関する上級管理職の担当者を任命していますか? (3.73%)

はい いいえ

1a. 御社には、社会のサステナビリティ関連の担当責任者がいますか? (0.93%)

▶ 社会のサステナビリティ

社会のサステナビリティは、企業の業務により影響を受ける可能性がある従業員および地域社会の人々双方の生活の質に影響する慣行に関連します。

企業は労働者の人権を尊重し、国際社会で認識されているように、あらゆる人に尊厳をもって対応する必要があります。対応すべき社会的課題には、差別の禁止、結社の自由、安全衛生の問題などがあります。

はい いいえ

名前

電子メール?Email?

役職

1b. 御社には、コンプライアンス/企業倫理関連の担当責任者がいますか? (0.93%)

▶ コンプライアンス/企業倫理

コンプライアンスは、事業パートナーとその顧客との関わりにおけるビジネス行動の指針に関連します。

企業は、最高水準のインテグリティを維持し、現地の法律に準拠してサプライチェーン全体で誠実かつ公正に業務を遂行することが期待されます。倫理に反する商慣行の例には、腐敗、不公正な競争、利益相反などがあります。

はい いいえ

名前

電子メール?Email?

ガイダンス

社会のサステナビリティ、コンプライアンス/企業倫理および環境のサステナビリティに関連した自社のコミットメントの実現に責任を持つ担当者として、企業は、その他の責務から独立した、上級管理職の担当者を任命することが期待されます。また、正式な文書?例?職務記述書?で、当該部門に任命した担当者の明確な任務?任務遂行に割り当てる時間?を定める必要があります。

ドイツの「サプライチェーンにおける企業のデューディリジェンス義務に関する法律」?LkSG?の対象企業では、社会のサステナビリティ関連の担当責任者が、法律が要求する人権関連トピックの責任者とみなされる可能性があります。

こちらの質問への回答としてご提供いただいた連絡先に、事前の通知なしにご連絡差し上げることはありません。まずは、本自己評価アンケートに回答された方に確認を取らせていただきます。

役職

1c. 御社には、環境のサステナビリティ関連の担当責任者がいますか? (0.93%)

▶ 環境のサステナビリティ

環境のサステナビリティは、長期的に環境の質に影響を与える慣行に関連します。

企業は、環境保護、天然資源の保全、生産・製品・サービスのライフサイクルを通じて発生する環境負荷の低減により、環境責任に対する積極的なアプローチを推進することが期待されます。

はい

いいえ

名前

電子メール?Email?

someone@supplierassurance.com

役職

1d. 御社には、サステナビリティにかかわるリスク管理業務を監視する担当者
?例?人権担当者?がいますか? (0.93%)

▶ サステナビリティにかかわるリスク管理/人権担当者

サステナビリティや人権に関連するリスクの監視を担当する、人権担当者
?HRO?またはこれに準じた役職を任命することは、企業にとって大きなメリットになります。当該任務は、日々の業務上のデューディリジェンスと厳密に区別される場合に最も効果を発揮します。これに該当するかどうかは、以下の6つの基準により判断されます?

- HROは企業の人権および環境ポリシー、法令上の要件が業務上順守されているか定期的にチェックする。
- 人権や環境関連の問題について、全従業員がHROのアドバイスを受けられる。
- 違反が特定され、その他のスタッフが対応した際、HROは是正措置の提案を行う場合がある。
- HROは上級幹部と連携し、リスク管理の改善を提案する。
- HROは上級幹部への報告を行うが、上司の指示に拘束されない?例?契約によりHROは解雇から保護されている?。
- HROは上級幹部に、少なくとも年に一度、リスク管理の状況について説明を行う。

はい

いいえ

名前

電子メール?Email?

someone@supplierassurance.com

役職

回答

2. 御社では、企業の社会的責任(CSR)/サステナビリティ報告書を発行していますか(3.55%)

▶ CSR報告書

CSR/サステナビリティ報告書は、経済、環境、社会、倫理に関連するパフォーマンスについて情報を提供する組織の報告書です。

ガイダンス

(ref:2) 欧州連合(EU)では、非財務情報および多様性関連情報の開示に関するEU指令(指令 2014/95/EU)により、大企業による非財務情報および多様性関連情報の開示に関するルールが定められています。これを受け、当該指令は加盟国における導入状況に若干の違いはあるものの、加盟国で国内法化されています。

はい、グローバル・レポートング・イニシアチブ(GRI)スタンダードまたは世界的に認められた基準に従った独立した報告書として発行しています

受付可能な文書

国際的に認められているCSR/サステナビリティ報告書の基準や枠組みの例には、以下のようなものがあります

- GRI(GRI)のサステナビリティ・レポートング・スタンダード
- ISO 26000 社会的責任に関するガイダンス
- 気候変動開示基準委員会(CDP-CDSB)
- 国連グローバル・コンパクト・コミュニケーション・オン・プロGRESS(UNGC-COP)
- AFAQ 26000 持続可能な開発

ご注意Webページへのリンクは含めないで下さい - 報告書のコピーをアップロードしてください

世界的に認められた基準の名称を入力してください

報告書に対象となる事業所や企業が含まれる場合、親会社のもので構いません。



アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語)である必要があります。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像(15MB以下))

 No file selected

はい、GRIスタンダードまたは世界的に認められた基準に従った年次報告書(例)年次報告書やサステナビリティ報告書に統合して発行しています

受付可能な文書

国際的に認められている統合報告の基準や枠組みの例としては、以下が挙げられます

- 米国サステナビリティ会計基準審議会(SASB)
- 国際統合報告評議会(IRC)
- 国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP-FI)
- 国際財務報告基準(IFRS)

ご注意Webページへのリンクは含めないで下さい - 報告書のコピーをアップロードしてください

世界的に認められた基準の名称を入力してください

報告書に対象となる事業所や企業が含まれる場合、親会社のもので構いません。



アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語²英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語²である必要があります。

関連文書をアップロードしてください²pdf、画像²15MB以下²

 No file selected

はい、ただし世界的に認められた基準には従っていません

受付可能な文書

御社は、報告書のフォーマットで、CSRのトピックをカバーした文書をアップロードする必要があります

ご注意²ポリシーや行動規範は、CSR報告書の証拠とはなりません

代わりに基準の名称を入力してください

報告書に対象となる事業所や企業が含まれる場合、親会社のものでも構いません。



アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語²英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語²である必要があります。

関連文書をアップロードしてください²pdf、画像²15MB以下²

 No file selected

いいえ

2a. 最新の報告書は、第三者保証を受けていますか²

▶ 第三者保証

第三者保証とは、報告書の信頼性、正確性、妥当性に関する、外部機関による評価および認証です。



はい、当該報告書に保証報告書は含まれています



部分的に保証されており、範囲は保証報告書で説明されています

受付可能な文書

CSR/サステナビリティ報告書の第三者保証を含む第三者監査機関の手紙または文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

 No file selected

いいえ

2b.1. CSR報告書では、人権に関しどのような内容を開示していますか?

! 上記でアップロードしたCSR報告書において、以下で選択した開示内容がすべてカバーされていない場合、検証プロセスでギャップが指摘されます。当該CSR報告書文書でカバーされていない開示内容については、スコアは付与されません。

自社が特定した潜在・顕在する人権関連のリスク

自社が人権関連のリスクに対処し、その有効性を評価するために講じた既存の対策に関する説明

自社が人権関連のリスクの管理に向けて将来的に講じる予定の対策に関する説明

自社の人権関連のリスクに関して報告はしていません

2b.2. CSR報告書では、環境に関しどのような内容を開示していますか?

! 上記でアップロードしたCSR報告書において、以下で選択した開示内容がすべてカバーされていない場合、検証プロセスでギャップが指摘されます。当該CSR報告書文書でカバーされていない開示内容については、スコアは付与されません。

自社が特定した環境関連のリスク

自社が環境関連のリスクに対処し、その有効性を評価するために講じた既存の対策に関する説明

自社が環境関連のリスクの管理に向けて将来的に講じる予定の対策に関する説明

自社の環境関連のリスクに関して報告はしていません

2c. 御社では、前年度の法定デューディリジェンス義務の履行に関する報告(例)ドイツのLkSG「サプライチェーンにおける企業のデューディリジェンス義務に関する法律」を毎年行っていますか?

はい

受付可能な文書

御社は、報告書のフォーマットで、デューデリジェンスのトピックをカバーした文書をアップロードする必要があります。以下の例がこれに該当します

- デューデリジェンス関連活動に焦点を当てた報告書
- デューデリジェンス活動をカバーしたCSR/サステナビリティ報告書
- デューデリジェンス活動を含む統合報告書

ご注意 ポリシーや行動規範は、デューデリジェンス活動に関する報告書の証拠とはなりません

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ

回答

3. 御社には、行動規範がありますか？ (10.03%)

▶ 行動規範

行動規範とは、個人・従業員および組織の責任や適切な慣行の概要をまとめた一連のルールです。社会・倫理・環境的側面がカバーされています。

はい

受付可能な文書

- 行動規範
- 倫理綱領
- 従業員ハンドブック
- 契約条件・行動規範/ポリシーへの言及がある場合
- CSR/サステナビリティポリシー・従業員および組織の責任に言及がある場合
- 社会的責任に係わるZVEI行動規範

! アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語（英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語）である必要があります。

関連文書をアップロードしてください。pdf、画像（15MB以下）

Choose File No file selected

いいえ

3a. 御社では、行動規範について、従業員に対する研修を提供していますか？

▶ 行動規範に関する研修

行動規範に関する研修では、企業による合法的かつ倫理的な文化の醸成・強化を後押しするため、従業員と雇用主への期待事項を伝える必要があります。

研修では、以下のトピック分野の1つ以上をカバーするものとします。

- 期待される行動
- 企業理念/指針
- 不正行為の報告
- 人権および労働条件
- 安全衛生
- 企業倫理
- 環境

はい

受付可能な文書

- 研修証明書
- eラーニングのスクリーンショット
- 研修資料（例）パワーポイントによるプレゼンテーション資料
- 関連マネジメントシステム認証（例）環境または安全衛生
- その他、トピック分野に関連する研修を計画または実施していることを示す文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ、ただしエクストラネット/パンフレットなどで行動規範を周知しています

受付可能な文書

- イン트라ネットのスクリーンショット
- 人的資源HRまたは人事マニュアル
- 関連トピックをカバーした雇用契約
- 御社の行動規範を周知していることを証明するその他の文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ

回答

4. 御社はこの事業所において、苦情処理メカニズムまたは文書化した苦情処理手続きを整備していますか? (3.77%)

▶ 苦情処理メカニズム

苦情処理メカニズムとは、企業やその従業員の活動や業務によって悪影響を受けた、従業員や外部のステークホルダーが利用できる、正式な法的または非法的な苦情処理プロセスです。

はい

ガイダンス

国連の「保護・尊重・救済」枠組みによると、企業は人権を尊重し、事業が人権に悪影響を与えている、またはその要因となっている場合、改善策を提供しなければなりません。事業活動に影響を受ける可能性がある人々を対象とした、事業レベルでの苦情処理メカニズムは、これを通じて企業が改善を図ることできるため、効果的なプロセスとして推奨されます。

受付可能な文書

- SA8000 社会マネジメントシステム
- 会社のハンドブックに関連する問題をカバーしている場合
- 人的資源/HRまたは人事マニュアル
- 関連トピックをカバーした雇用契約
- メカニズムの利用に関する説明例従業員ハンドブックや研修資料
- 準拠するプロセス/手続き
- 苦情処理メカニズムまたは苦情処理手続き自体に関する証拠例イントラネットポータルのスクリーンショットまたは外部ポータルの同意書/請求書
- オンラインメカニズムのスクリーンショット

! アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語)である必要があります。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

No file selected

いいえ

4a. 御社の苦情処理メカニズムまたは苦情処理手続きにはどのような特徴がありますか以下、該当するものすべてにチェックを入れてください。

苦情処理手続きの責任者に関する概要を提示している(該当する場合)第三者が直接または外部サービスプロバイダーを通じて連絡できる苦情処理機関が設置されている

連絡先を入力してください

企業から委任された当該責任者は公平で独立した立場にあり、いずれの指示にも拘束されない

明文化した苦情処理手続きの規定で、苦情処理方法の概要と各段階で要する時間の目安を提示している



苦情処理メカニズムに関連してアップロードされた文書において、苦情処理手続きの規定の概要が提示されていない場合、検証プロセスでギャップが指摘されます。

明文化した苦情処理手続きの規定は、自社が事業を行うすべての国において、現地語で公開されている

苦情申立人に対して、申し立ての際に受領確認を行う

苦情申立人の身元は公開されない

苦情申立人に対する報復の禁止へのコミットメント



苦情処理メカニズムに関連してアップロードされた文書において、報復の禁止へのコミットメントが証明されていない場合、検証プロセスでギャップが指摘されます。

匿名で苦情を申し立てることができる

改善/解決に際し、苦情申立人またはその代理人の意見が考慮される

苦情処理手続きの有効性に関する評価を、少なくとも12カ月に1回、および必要に応じて行う

不服申立手続き

上記のいずれにも該当しない

4b. どのような苦情を申し立てられますか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。

人権に関する苦情

環境に関する苦情

倫理に反する商慣行

4c. 苦情処理メカニズムを利用できるのは、どのステークホルダー・グループですか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。

内部のステークホルダー? 自社の正社員/非正社員、直接的なサプライヤー、サービスプロバイダーなど?

外部のステークホルダー^②（請負業者、間接的なサプライヤー、地域社会など）^②

その他

4d. 苦情処理手続きを利用する権利を持つ、すべてのステークホルダー・グループに対して、当該手続きへのアクセスをどのように最適化していますか^②（該当するものすべてにチェックを入れてください）。

研修の実施を通じて

多様なメディアを通じて

オンライン

電話

電子メール^②（Email）^②

アプリ

業界共同の苦情処理手続きへの参加を通じて

上記のいずれにも該当しない

回答

B. 人権および労働条件

5. 御社には、人権および労働条件をカバーする正式なポリシーがありますか?
(5.82%)

▶ 人権および労働条件ポリシー

人権および労働条件ポリシーは、上級幹部によって合意された正式な文書で、従業員と幅広いステークホルダーを尊重し、その尊厳を守りながら、公正に対応するという企業のコミットメントを証明するものです。同ポリシーでは、法律および国際的なガイドラインの順守を基盤として、人権を尊重・保護する企業の責任の概要を示す必要があります。職場における人権には、安全な労働環境に対する権利、公正な報酬と同一労働同一賃金に対する権利、団体交渉を準備し参加する権利、強制労働や人身取引から守られる権利が含まれます。

はい

受付可能な文書

- 人権および労働条件ポリシー
- 社会/労働基準ポリシー
- 従業員ハンドブック²関連する問題をカバーしている場合²
- CSR/サステナビリティポリシー²関連する問題をカバーしている場合²
- 行動規範またはその他の事業方針²人権問題または社会的課題をカバーしている場合²

ご注意² マネジメントシステム認証は、ポリシーの証拠として受け付けられません

! アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語²英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語²である必要があります。

関連文書をアップロードしてください²pdf、画像²15MB以下²

Choose File No file selected

いいえ

5a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか²該当するものすべてにチェックを入れてください。

! アップロードした文書において、以下で選択したポリシー分野がすべてカバーされていない場合、検証プロセスでギャップが指摘されます。当該文書でカバーされていないポリシー分野については、スコアは付与されません。

▶ 定義

このリストは [Global Automotive Sustainability基本原則](#) を参照したものです。

児童労働と若年労働者は、法律で労働が認められている最低年齢に達していない子供の雇用の禁止に関する問題です。サプライヤーはILOの「1973年の最低年齢条約²第138号²」に沿って、18歳未満の合法的な若年労働者を夜間勤務や残業に従事させず、健康、安全、成長に害を及ぼす労働条件から保護することを保証するよう期待されます。また、若年労働者の勤務が、学校への出席の妨げとならないことを確実にする必要があります。若年労働者の1日の勤務時間と学校の授業時間の合計は、10時間を超えないものとします。

ガイダンス

(ref:5) 人権とは、私たちが人間であるという理由のみに基づき付与される権利です。この権利は、すべて人による尊厳の維持を可能にする、普遍的に合意された最低限の条件を象徴するものです。人権は、国籍、居住地、性別、人種や民族、肌の色、宗教、その他の条件とは無関係に、私たち全員が生まれながらに持つ権利です。

出典² [世界人権宣言](#)

(ref:6) マネジメントシステムとは、一連の文書化した統制、プロセスおよび/または手順です。マネジメントシステムは、社内システムの場合も、一定の基準に基づいて開発される²認証を受けたマネジメントシステムの²場合もあります。認証を受けたマネジメントシステムは、企業が持続可能な方法で事業にコミットし、必要なプロセスをすべて導入していることをステークホルダーに力強く保証するものです。なお、SAQでは社内で開発された、認証を受けていないマネジメントシステムも評価していますが、国際的に認められている基準に基づき認証を受けたマネジメントシステムであれば、最も高いスコアの取得が可能です。

関連性のある国際的に認められた認証基準としては、以下の例が含まれます²

- SA8000 社会マネジメントシステム
- RSCI監査証明書²FULLラベル²

賃金と手当は、基本賃金、最低賃金、給与および労働者の雇用から直接的または間接的に生じる、現金または現物で雇用主から労働者に支給されるその他の給付に関連します。サプライヤーは、適用法令に準拠し、業界慣行に沿った報酬を労働者に付与する必要があります。このような報酬には、最低賃金、超過勤務手当、医療休暇、政府が義務付ける手当等が含まれ、労働者とその家族の基本的なニーズを満たし、適切な生活水準を維持するのに十分なものでなければなりません。

出典②ILO-UNGCおよびGlobal Automotive Sustainability実用指針

労働時間は、通常の週の所定労働時間が48時間を超えないことに関連するものです。緊急を要する状況では、残業を含めた週の労働時間は60時間以内に制限されます。残業を強制することはできません。労働者には、7日ごとに最低1日の休日が付与されるべきです。勤務時間の上限と休暇に関する法令は順守される必要があります。

出典②ILO条約に基づく、エシカル・トレーディング・イニシアチブ

現代の奴隷制は、何らかのペナルティを科すという脅迫の下で要求された、本人の自由意思に基づかないあらゆる労働またはサービスに関連します。例としては、残業の強制、身分証明書の保管、人身取引などがあります。現代の奴隷制は、イギリス議会の [2015年現代奴隷法](#) の影響を受けます。この法律は特定の基準を満たす企業を対象に、毎年、企業の会計年度末から6か月以内に「奴隷および人身取引に関する声明」を公表する義務を課しています。

出典②国際労働機関ILOおよびイギリス国立公文書館

倫理的な採用は、国際労働基準に沿って、人権を尊重し、公正かつ透明性のある方法で、合法的に労働者を雇用することを意味します。倫理に反する採用の例としては、仕事の性質について応募者に誤解を与えたり偽ったりすること、採用に際し労働者に手数料を課すこと、労働者のパスポートおよびその他の政府が発行した身分証明書等を没収、破棄、隠匿したり、これらへのアクセスを拒否したりすることなどが挙げられます。労働者は採用の開始時に、労働者が十分理解できる言語で、労働者の権利と責任について偽りなく明確に記載した通知を書面で受け取る必要があります。

出典②ILOおよびGlobal Automotive Sustainability実用指針

結社の自由は、平和的な集会の自由のほか、特に政治、労働組合、市民問題などのあらゆるレベルでの団体の自由に関連し、誰もが労働組合を結成し、これに参加して自らの利益を守る権利を指しています。ここには、労働条件を調整する合意の到達を目指し、雇用主と従業員団体の間で行われる交渉プロセスとしての団体交渉も含まれます。

出典②欧州連合基本権憲章

ハラスメントは、苛烈で非人道的な扱い、あるいはそのような扱いの脅威として定義され、労働者に対するセクシャルハラスメント、性的虐待、体罰、精神的または肉体的な強制、言葉の暴力などが含まれます。

出典②Global Automotive Sustainability実用指針

差別の禁止は、個人または団体が、性別、人種、肌の色、民族・社会的出身、遺伝的特徴、言語、宗教や信条、政治的あるいはその他のあらゆる意見、国家におけるマイノリティの一員、財産、出自、障害、年齢もしくは性的指向に関わらず、平等に扱われなければならないという原則です。企業は、性別だけでなく、その他すべての差別の潜在的要因に左右されることなく、同一価値の労働には同一の報酬を支払うべきです。ただし、地域ごとの生活費の相違を考慮した報酬の差異は禁止されません。

出典②欧州連合基本権憲章

女性の権利とは、女性は政治的、経済的、社会的に対等な権利を持つという原則です。ジェンダー不平等は、雇用における機会不平等や同一労働での賃金格差といった問題の根底にあるものです。女性の地位向上のための努力はいくつかの宣言や協定として結実しており、中でも代表的なものが [女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約](#) です。この条約では、締約国に対し、「締約国は、女子に対して男子との平等を基礎として人権及び基本的自由を行使し及び享有することを保障することを目的として、女子の完全な能力開発及び向上を確保するためのすべての適切な措置立法を含む」[第3条](#) ことを求め、平等原則を積極的に提唱しています。

出典②女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約およびGlobal Automotive Sustainability実用指針

ダイバーシティ、平等、インクルージョンは、企業が多様性を尊重・祝福し、誰もが全面的に参加して、その潜在能力を発揮できるような包括的な文化を醸成、推進すべきであるという原則に関連するものです。企業は、取締役会を含め、従業員・幹部のあらゆるレベルで多様性を奨励する必要があります。

出典②Global Automotive Sustainability実用指針

マイノリティと先住民族の権利とは、地域社会の住民、特に社会的弱者の存在を考慮した、適切な生活条件、教育、雇用、社会活動、および彼らと彼らが住む土地に影響を及ぼす開発において、自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意² FPIC²を尊重することです。

出典²Global Automotive Sustainability実用指針

土地・森林・水資源の権利および強制退去とは、土地・森林・水資源の取得・開発、その他の利用における、強制退去と土地・森林・水資源剥奪の回避に関するものです。

出典²Global Automotive Sustainability実用指針

民間・公共警備とは、企業側での訓練や管理の不足により、警備の配置が人権侵害につながる可能性がある場合、事業プロジェクトを保護するために民間または公共の警備を委託・利用することを意味します。

出典²Global Automotive Sustainability実用指針

- 児童労働と若年労働者
- 賃金と手当
- 労働時間
- 現代の奴隷制²すなわち奴隷、隷属、強制または義務的労働、人身取引²
- 倫理的な採用
- 結社の自由と団体交渉
- 差別およびハラスメントの禁止
- 女性の権利
- ダイバーシティ、平等、インクルージョン
- マイノリティおよび先住民族の権利
- 土地・森林・水資源の権利および強制退去
- 民間・公共警備の利用

5b. 御社では、人権および労働条件ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか²

▶ 人権に関する研修

人権および労働条件に関する研修では、企業内の人権および労働条件を巡る期待事項、ポリシー、手続きについて、従業員に明確な指示を与える必要があります。

研修では、以下のトピック分野の1つ以上をカバーするものとします²

- 従業員と労働者の雇用を巡る権利に関する研修
- 企業の人権および労働条件ポリシーに関する研修
- 平等、ダイバーシティ、差別の禁止に関する研修
- 従業員と労働者向けの人権侵害の特定に関する情報キャンペーン

はい

受付可能な文書

- 研修証明書
- eラーニングのスクリーンショット
- 研修資料²例²パワーポイントによるプレゼンテーション資料²
- 関連マネジメントシステム認証²例²人権および労働条件²
- その他、トピック分野に関連する研修を計画または実施していることを示す文書

関連文書をアップロードしてください²pdf、画像²15MB以下²

Choose File No file selected

いいえ、ただしイントラネット/パンフレットなどで周知しています

受付可能な文書

- イン트라ネットのスクリーンショット
- 人的資源²HR²または人事マニュアル
- 関連トピックをカバーした雇用契約
- 御社の人権および労働条件ポリシーを周知していることを証明するその他の文書

関連文書をアップロードしてください²pdf、画像²15MB以下²

Choose File No file selected

いいえ

6. この事業所では、人権および労働条件の問題を管理するマネジメントシステムを導入していますか² (10.03%)

▶ 人権および労働条件マネジメントシステム

人権および労働条件マネジメントシステム²認証取得済み、または未取得のもの²には、事業活動全体において人権および労働条件を統制、管理、改善するためのプロセスが含まれます。同システムは、従業員や地域社会が持つ力を高め、人権侵害を防止するのにも役立ちます。また、企業によるリスクや影響の効果的な管理、潜在的な問題の予想・対処を後押しします。

はい、国際的に認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています

受付可能な文書

国際的に認められている認証を受けた人権および労働条件マネジメントシステム

- SA8000 社会マネジメントシステム
- RSCI監査証明書(FULLラベル)

新しい証明書をお待ちの場合は、証明書の原本とともに、証明の延長を確認する旨が記載された認証機関の手紙をアップロードしてください。

ご注意RSCI監査のINTERIMラベルは受け付けられません



アップロードする文書では、当該事業所が認証の範囲に含まれている必要があります

認証基準

認証機関

認証番号

有効期限

月	▼	日	▼	年	▼
---	---	---	---	---	---

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File	No file selected
-------------	------------------



はい、国内で認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています

受付可能な文書

弊社では国内の認証基準を受け付けているほか、関連する認証機関の証明書についても検証を行うよう努めます。

新しい証明書をお待ちの場合は、証明書の原本とともに、証明の延長を確認する旨が記載された認証機関の手紙をアップロードしてください。

認証基準

認証機関

認証番号

有効期限

月	▼	日	▼	年	▼
---	---	---	---	---	---

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

はい、ただしシステムは認証を受けていません

受付可能な文書

- 従業員ハンドブック(関連する問題をカバーしている場合)
- 関連手順を示すプロセスフロー
- 監査報告書または監査是正計画書
- 社内マネジメントシステムのスクリーンショット(指定されたマネジメントシステムとの明確な関連性を示している場合)
- 人権および労働条件の評価と改善に関する証拠

ご注意: ポリシー文書は、認証を受けていないマネジメントシステムの証拠として受け付けられません

! アップロードする文書は、対応言語(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語)である必要があります。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ

回答

C. 安全衛生

7. 御社では、現地の法律、業界の要件、国際的な基準に準拠した、正式に明文化した安全衛生ポリシーを導入していますか？ (5.85%)

▶ 安全衛生ポリシー

安全衛生ポリシーは、上級幹部によって合意された正式な文書で、関連する安全衛生基準に対する企業のコミットメントを証明するものです。同ポリシーでは、法律および国際的なガイドラインを順守しつつ運営する企業の責任の概要を示す必要があります。安全衛生は「事故ゼロ」の健全で安全な職場に対する、幹部と従業員のコミットメントを強調するものです。安全衛生のために十分なリソースと秩序を整え、システムの継続的な改善の確保に向け、定期的なリスク評価と報告を行うことは幹部の責任となります。

はい

受付可能な文書

- 安全衛生ポリシー
- 従業員ハンドブックに関連する問題をカバーしている場合
- CSR/サステナビリティポリシーに関連する問題をカバーしている場合
- 行動規範またはその他の事業方針で安全衛生問題をカバーしている場合

ご注意 マネジメントシステム認証は、ポリシーの証拠として受け付けられません

! アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語（英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語）である必要があります。

関連文書をアップロードしてください（pdf、画像 15MB以下）

Choose File No file selected

いいえ

7a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。

! アップロードした文書において、以下で選択したポリシー分野がすべてカバーされていない場合、検証プロセスでギャップが指摘されます。当該文書でカバーされていないポリシー分野については、スコアは付与されません。

▶ 定義

ガイダンス

(ref:7) 安全衛生は、職場において、または職場から生じる、労働者の健康、ウェルビーイングを害する可能性がある危険の予測、認識、評価および管理を意味します。周辺の地域社会や環境全般に及ぶ可能性がある影響についても考慮します。出典 ILO

(ref:8) 安全衛生マネジメントシステムとは、職場における危険性を特定し、事故および有害な状況や物質にさらされる可能性を減らすための、組織的な取り組みと手順に関連するものです。さらに、事故の防止、事故への対応、緊急時の手順、防護服や保護具の使用に関する従業員向けの研修も含まれます。マネジメントシステムは、社内で開発することも、国家規格または国際規格に基づいて開発することも可能です。認証を受けたマネジメントシステムは、企業が持続可能な方法で事業にコミットし、必要なプロセスをすべて導入していることをステークホルダーに力強く保証するものです。なお、SAQでは社内で開発された、認証を受けていないマネジメントシステムも評価していますが、国際的に認められている基準に基づき認証を受けたマネジメントシステムであれば、最も高いスコアの取得が可能です。

関連性のある国際的に認められた認証基準

- ISO 45001 労働安全衛生

個人用保護具は、職場での危険や安全衛生上のリスクから身を守るために、雇用主が提供すべき備品です。また、安全ヘルメット、安全帽、手袋、目の保護具、高視認性安全服、安全靴、ハーネス安全帯などのアイテムが含まれます。

機械の安全性とは、職場における機械の安全な使用と保守を確保し、職場における事故やけがの数を減少させることを意味します。

緊急事態への備えは、職場における緊急事態に備え、計画する行為を指します。緊急事態への事前準備は、雇用主と労働者が確実に必要な備品を有し、実際に緊急事態が発生した際に向かうべき場所と身の安全を確保する方法を把握するために重要な役割を果たします。例えば、火災安全訓練や避難手順などが挙げられます。

事件・事故のマネジメントとは、事件・事故の発生後、迅速かつ継続して活動を行うために必要なさまざまなアクションおよびプロセスを指します。

職場の人間工学とは、製品のデザインや作業スペースの配置の改善により、緊張、疲労、けがのリスクの低減を目指し、ユーザーのニーズに職場を適合させる科学です。机や椅子の高さ、手作業、重い物の持ち上げなどが含まれます。

化学物質および/または生物学的物質の取り扱いとは、健康に害を及ぼすことなく、化学物質および/または生物学的物質を取り扱う方法について、従業員にガイダンスを提供することを意味します。

防火システムは、建物内に居る人や資産、建物自体を安全を維持するうえで重要な役割を果たします。企業は、職場に火災報知器、非常口の標識と照明、避難はしごが必要な場合、および消火器やスプリンクラーなどの防火システムが確実に整備されているようにする必要があります。

個人用防護具

機械の安全性

緊急時への備え

事件・事故のマネジメント

職場の人間工学

化学物質および/または生物学的物質の取り扱い

防火

7b. 御社では、安全衛生ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか?

▶ 安全衛生に関する研修

安全衛生に関する研修では、従業員が安全に、かつ健康を害するリスクなしに、日々の業務を遂行するため、従業員への明確な指示が提供される必要があります。

研修では、以下のトピック分野の1つ以上をカバーするものとします²⁾

- 火災避難訓練および火災安全訓練
- 個人用防護具の使用に関する研修
- 企業の安全衛生ポリシーに関する研修
- 労働環境の検査
- 危険物の取り扱いに関する研修
- 安全衛生の手続きに関する教材の配布
- 対象の事業所に特化した安全衛生の手続きに関する労働者向けの情報キャンペーン

はい

受付可能な文書

- 研修証明書
- eラーニングのスクリーンショット
- 研修資料²⁾例²⁾パワーポイントによるプレゼンテーション資料²⁾
- 安全衛生の関連マネジメントシステム認証
- その他、トピック分野に関連する研修を計画または実施していることを示す文書

関連文書をアップロードしてください²⁾pdf、画像²⁾15MB以下²⁾

Choose File No file selected

いいえ、ただしイントラネット/パンフレットなどで周知しています

受付可能な文書

- イン트라ネットのスクリーンショット
- 人的資源²⁾HR²⁾または人事マニュアル
- 関連トピックをカバーした雇用契約
- 御社の安全衛生ポリシーを周知していることを証明するその他の文書

関連文書をアップロードしてください²⁾pdf、画像²⁾15MB以下²⁾

Choose File No file selected

いいえ

8. この事業所では、安全衛生マネジメントシステムを導入していますか²⁾
(10.03%)

▶ 安全衛生マネジメントシステム

安全衛生マネジメントシステム²⁾認証取得済み、または未取得のもの²⁾には、事業活動全体において安全衛生を統制、管理、改善するためのプロセスが含まれます。同システムは、従業員や地域社会が持つ力を高め、職場における事件や事故を防止するのにも役立ちます。また、企業によるリスクや影響の効果的な管理、潜在的な問題の予想・対処を後押しします。



はい、国際的に認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています

受付可能な文書

国際的に認められている認証を受けた安全衛生マネジメントシステム

- ISO 45001

新しい証明書をお待ちの場合は、証明書の原本とともに、証明の延長を確認する旨が記載された認証機関の手紙をアップロードしてください。



アップロードする文書では、当該事業所が認証の範囲に含まれている必要があります

認証基準

認証機関

認証番号

有効期限

月	▼	日	▼	年	▼
---	---	---	---	---	---

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected



はい、国内で認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています

受付可能な文書

弊社では国内の認証基準を受け付けているほか、関連する認証機関の証明書についても検証を行うよう努めます。

新しい証明書をお待ちの場合は、証明書の原本とともに、証明の延長を確認する旨が記載された認証機関の手紙をアップロードしてください。

認証基準

認証機関

認証番号

有効期限

月 [▼] 日 [▼] 年 [▼]

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected



はい、ただしシステムは認証を受けていません

受付可能な文書

- 従業員ハンドブックに関連する問題をカバーしている場合
- 安全衛生手順の文書
- 安全衛生に関する研修の記録
- 危険の防止・管理方法
- 緊急事態の予防、準備、対応手順
- 安全衛生システムマニュアル
- 社内マネジメントシステムのスクリーンショット指定されたマネジメントシステムとの明確な関連性を示している場合
- 関連手順を示すプロセスフロー
- リスク評価
- 監査報告書または監査是正計画書

ご注意ポリシー文書は、認証を受けていないマネジメントシステムの証拠として受け付けられません



アップロードする文書は、対応言語(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語)である必要があります。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected



いいえ

回答

D. 企業倫理

9. 御社には、企業倫理をカバーする正式なポリシーがありますか? (5.85%)

▶ 企業倫理ポリシー

企業倫理ポリシーは、上級幹部によって合意された正式な文書で、ビジネスおよびサプライチェーンにおいて、現地の法律に準拠して事業を行う企業のコミットメントを証明するものです。同ポリシーでは、法律および国際的なガイドラインを順守しつつ運営する企業の責任の概要を示す必要があります。

はい

受付可能な文書

- 行動規範または倫理綱領ポリシー
- 従業員ハンドブックに関連する問題をカバーしている場合
- CSR/サステナビリティポリシーに関連する問題をカバーしている場合
- 行動規範またはその他の事業方針が企業倫理をカバーしている場合

ご注意 マネジメントシステム認証は、ポリシーの証拠として受け付けられません

! アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語が英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語である必要があります。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ

9a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか?該当するものすべてにチェックを入れてください。

! アップロードした文書において、以下で選択したポリシー分野がすべてカバーされていない場合、検証プロセスでギャップが指摘されます。当該文書でカバーされていないポリシー分野については、スコアは付与されません。

▶ 定義

このリストは [Global Automotive Sustainability基本原則](#) を参照したものです。

腐敗は、影響力のささやかな行使から、制度化された贈収賄までさまざまな規模で行われます。職権を私利私欲のために乱用する行為として定義されます。金銭的な利益だけでなく、金銭以外の優遇措置も含まれます。

出典②国連グローバル・コンパクトおよびトランスペアレンシー・インターナショナル

データ保護とデータセキュリティは、自身の個人データを誰が、何の目的で処理できるかは、自分自身で決定できるという個人の権利に関わります。また、当該データをそのライフサイクルを通じて、不正アクセスやデータ破損から保護し、安全対策を講じることを意味します。

財務責任は、財務会計簿、品質報告書、勤怠管理記録、経費報告書、および顧客または規制機関②該当する場合②への提出書類を含むビジネス文書の正確な記録、保管および報告に対する企業の責任を指します。帳簿と記録は、適用法および一般的に認められている会計原則に従って保管することが期待されます。出典②Global Automotive Sustainability実用指針

情報の開示とは、適用される規制および現行の業界慣行に従って財務情報および非財務情報を開示する企業の責任を意味します。労働力、安全衛生活動、環境活動、事業活動、財政状況および業績に関する情報を開示する責任を負う場合もあります。出典②Global Automotive Sustainability実用指針

公正競争と反トラストとは、違法に競争を妨げる商慣行、競合情報の不正な交換、価格協定の締結、不正入札および不正な市場分割の回避を含む、企業が掲げる公正なビジネスおよび競争の基準を意味します。大企業、中小企業は等しく競争規約に従うことが第一義的な責任となります。企業は競争規約に違反する危険性を認識し、自社のニーズに最適なコンプライアンスポリシー/戦略を策定する方法を把握する必要があります。効果的なコンプライアンスポリシー/戦略があれば、企業は競争法違反に関与する危険性と競争を妨害する行為によって生じるコストを最小限に抑えることができます。出典②Global Automotive Sustainability実用指針

利益相反は、個人または企業②民間企業または国営企業②が専門家としての立場または公的な立場を何らかの形で個人または企業の利益のために利用できる状況において生じます。出典②OECD

模倣品は、部品や材料の模倣品が納入製品に混入する危険性を最小限に抑えられるように、自社製品およびサービスに適合した手法とプロセスを開発、導入、および維持するという企業への要求に関連します。また、企業は部品や材料の模倣品を検出し、検出された場合は当該材料を隔離し、委託者ブランド名製造メーカー②OEM②顧客および/または法執行機関②該当する場合②に連絡する効果的なプロセスを確立することが期待されます。さらに、企業は非OEM顧客への販売がすべて現地の法律に準拠し、販売された製品が合法的に使用されていることを確認することが求められます。出典②Global Automotive Sustainability実用指針

知的財産は、発明、文学的および美術的著作物、意匠、商業上使用される記章、名称および画像など、知的な創作物を意味します。発明または創作された成果物により評価や経済的な利益を得ることができる知的財産は、特許法、著作権法、商標法などの法律により保護されます。出典②世界知的所有権機関

輸出規制と経済制裁とは、商品、ソフトウェア、サービスおよび技術の輸出または再輸出の制限、さらに特定の国、地域、企業または団体および個人が関与する取引に適用される制限を意味します。出典②Global Automotive Sustainability実用指針

報復は、大きなリスクが発生する可能性がある不正行為の疑いを報告したり、不正行為の報告に関する正式に認められた監査や調査に協力した個人が不利益を被る、直接・間接的な処分および/または措置による脅迫、それらの推奨または実行として定義されます。企業は、報告者の匿名性を維持して、その個人情報に明かされることなく、また報復を恐れることなく懸念事項を報告できるプロセス②内部通報システム②を確立することが期待されます。出典②WHOおよびGlobal Automotive Sustainability実用指針

腐敗防止とマネーロンダリング防止

データ保護とデータセキュリティ

財務責任²正確な記録²

情報の開示

公正競争と反トラスト

利益相反

模倣品

知的財産

輸出規制と経済制裁

内部告発と報復からの保護

9b. 御社では、**企業倫理**ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか²

▶ 企業倫理に関する研修

企業倫理に関する研修では、贈収賄、詐欺、腐敗、プライバシー、データ保護などの問題に対する従業員の理解を深め、倫理的な問題が生じた際には、これを特定し、積極的に関わり、適切に対処できるようにすることが求められます。

はい

受付可能な文書

- 研修証明書
- eラーニングのスクリーンショット
- 研修資料²例²パワーポイントによるプレゼンテーション資料²
- その他、トピック分野に関連する研修を計画または実施していることを示す文書

関連文書をアップロードしてください²pdf、画像²15MB以下²

Choose File No file selected

いいえ、ただしイントラネット/パンフレットなどで周知しています

受付可能な文書

- イン트라ネットのスクリーンショット
- 人的資源²HR²または人事マニュアル
- 関連トピックをカバーした雇用契約
- 御社の行動規範または企業倫理ポリシーを周知していることを証明するその他の文書

関連文書をアップロードしてください²pdf、画像²15MB以下²

Choose File No file selected

いいえ

回答

E. 環境

10. 御社には、法令順守のほか、環境パフォーマンスにおける継続的な測定・改善へのコミットメントをまとめた、正式な環境ポリシーがありますか？ (5.85%)

▶ 環境ポリシー

環境ポリシーは、企業の環境パフォーマンスに関連する全体的な意向と方向性を示すものです。企業のコミットメントを反映し、最高幹部によって正式に公開されます。また、環境影響の低減、資源やコストの節約を目指し、適用される法律とその他の要件、および自社の事業活動、製品およびサービスが環境に及ぼす影響を考慮のうえ環境目的を設定し、アクションの枠組みを提供します。当該ポリシーにより、土壌への悪影響、水質汚染、有害な騒音放射、必要以上の水消費などが無いことを確実にする必要があります。

はい

受付可能な文書

- 環境ポリシー
- 従業員ハンドブックに関連する問題をカバーしている場合
- CSR/サステナビリティポリシーに関連する問題をカバーしている場合
- 行動規範またはその他の事業方針に関連する環境問題をカバーしている場合

ご注意 マネジメントシステム認証は、ポリシーの証拠として受け付けられません

! アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語が英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語である必要があります。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像)15MB以下

Choose File No file selected

いいえ

10a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。

! アップロードした文書において、以下で選択したポリシー分野がすべてカバーされていない場合、検証プロセスでギャップが指摘されます。当該文書でカバーされていないポリシー分野については、スコアは付与されません。

▶ 定義

ガイダンス

(ref:11) マネジメントシステムは、社内で開発することも、国家規格または国際規格に基づいて開発することも可能です。環境監査により、組織による法令順守、環境パフォーマンス、および自社の環境ポリシーの利点と限界を評価し、実証することができます。企業がコミットしている、共有される価値と目的に、どの程度従い行動しているかを測定する手段となります。環境監査は、社内で実施される場合と、証明書を発行する社外の第三者機関により実施される場合があります。認証を受けたマネジメントシステムは、企業が持続可能な方法で事業にコミットし、必要なプロセスをすべて導入していることをステークホルダーに力強く保証するものです。なお、SAQでは社内で開発された、認証を受けていないマネジメントシステムも評価していますが、国際的に認められている基準に基づき認証を受けたマネジメントシステムであれば、最も高いスコアの取得が可能です。

関連性のある国際的に認められた認証基準としては、以下の例が含まれます

- ISO 14001:2015 EMS
- ISO 14064 GHG
- PAS2060 カーボンニュートラル
- BS8555 認証環境マネジメントシステムの導入
- PAS2050 カーボンフットプリント
- EU 環境管理・監査スキーム(EMAS)

このリストは[Global Automotive Sustainability基本原則](#)を参照したものです。

「温室効果ガス」は、大気中に熱を蓄積し、これが地球温暖化につながります。

「エネルギー効率」とは、一定量のエネルギーを投入した際に、生産的に使用されるエネルギー量を意味しています。

「再生可能エネルギー」は、使用しても枯渇することのない天然資源由来のエネルギーです。風力、太陽光、地熱などがこれに含まれます。

「脱炭素化」とは、企業のバリューチェーンから生じるGHGの排出量をゼロにすることを意味します。

「水質と水の消費」には、きれいな水へのアクセスと次世代のための保全などが含まれます。

「大気環境」とは、大気中の汚染レベルを意味しています。

「責任ある化学物質管理」では、取り扱い、保管、処分を含む化学物質のライフサイクルが考慮されます。

「持続可能な資源管理」とは、資源を保護するために使用量を減らす取り組みを指しています。

「廃棄物の削減」とは、廃棄物を最小限に抑え、資源を保護するために使用量を減らす取り組みを指します。

「リユース」とは、廃棄物を減らすために既存の素材や製品をそのまま使用する慣行を指し、「リサイクル」とは、製品を再び使用できる原料に戻すこと、多くの場合、完全に新しい製品内で使用される状態にすることを指します。

「動物福祉」とは、動物が生きる条件に関連しています。動物が健康で、快適に、栄養状態も良く、安全で、正常行動の発現が可能な場合、さらに不要な痛みや恐れ、ストレスから解放されている場合、福祉は十分に配慮されているといえます。

「生物多様性、土地利用、森林破壊、土壌の質」はすべて、動植物が失われることなく、自然生息地が回復不能なダメージを受けないように生態系を維持することに関連します。生態系と生物多様性を保護するための欧州連合の「グリーンディール」計画の一環として、欧州委員会は、森林破壊を食い止め、EUが世界の森林に与える影響を最小限に留めるための新たな法律を提案しています。提案されている同法律は、大豆、パーム油、木材、牛肉製品²皮革など²といった、森林破壊や森林劣化につながる商品を販売する企業に対し、それらを欧州市場に供給、またはEUから輸出する前に、「森林破壊フリー」であることを確実にするよう求めるものです。出典²欧州委員会²環境総局²

「土壌の質」とは、土壌が、特に環境と人間の健康の向上との関連で必要な役割を果たせるよう、その状態を評価する基準を意味しています。

「騒音放射」は、輸送活動、産業活動、日常の活動に分類される、さまざまな発生源の騒音を環境に放出することに関連しています。

温室効果ガス排出量の報告

エネルギー効率

再生可能エネルギー

脱炭素化

水質、水の消費と管理

大気環境

責任ある化学物質管理

持続可能な資源管理

廃棄物削減

リユースとリサイクル

動物福祉

生物多様性、土地利用、森林破壊

土壌の質

騒音放射

その他の分野

詳細を入力してください

10b. 御社では、環境ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか?

▶ 環境に関する研修

環境に関する研修では、従業員が日々の業務を遂行するにあたって、環境負荷を削減または低減できるよう、明確な指示とガイダンスを提供する必要があります。

研修では、以下のトピック分野の1つ以上をカバーするものとします?

- 温室効果ガス
- 水質
- 大気環境
- 持続可能な資源管理
- 責任ある化学物質管理

はい

受付可能な文書

- 研修証明書
- eラーニングのスクリーンショット
- 研修資料^例パワーポイントによるプレゼンテーション資料^例
- 環境マネジメントシステム認証
- その他、トピック分野に関連する研修を計画または実施していることを示す文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ、ただしイントラネット/パンフレットなどで周知しています

受付可能な文書

- イン트라ネットのスクリーンショット
- 人的資源(HR)または人事マニュアル
- 関連トピックをカバーした雇用契約
- 御社の環境ポリシーを周知していることを証明するその他の文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ

11. この事業所では、環境マネジメントシステムを導入していますか (10.02%)

▶ 環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム認証取得済み、または未取得のものには、事業活動を通じて環境パフォーマンスを統制、管理、改善するためのプロセスが含まれます。同システムは、企業が体系的かつ予防的なアプローチで環境パフォーマンスに取り組み、事業活動、製品およびサービスが環境に及ぼす影響を改善できるようにするものです。例ポリシー/方針の作成、目的の設定、法的要件およびその他の要件への対応、リスク管理、環境保護を後押しする継続的な改善を実現するための作業手順の導入、汚染の低減や防止。

はい、国際的に認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています

受付可能な文書

国際的に認められている認証を受けた環境マネジメントシステム

- ISO 14001:2015
- ISO 14064 GHG
- PAS2050 カーボンフットプリント
- PAS2060 カーボンニュートラル
- BS8555 認証環境マネジメントシステムの導入
- EU 環境管理・監査スキーム(EMAS)

新しい証明書をお待ちの場合は、証明書の原本とともに、証明の延長を確認する旨が記載された認証機関の手紙をアップロードしてください。

! アップロードする文書では、当該事業所が認証の範囲に含まれている必要があります

認証基準

認証機関

認証番号

有効期限

月 日 年

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected



はい、国内で認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています

受付可能な文書

弊社では国内の認証基準を受け付けているほか、関連する認証機関の証明書についても検証を行うよう努めます。

新しい証明書をお待ちの場合は、証明書の原本とともに、証明の延長を確認する旨が記載された認証機関の手紙をアップロードしてください。

認証基準

認証機関

認証番号

有効期限

月 日 年

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected



はい、ただしシステムは認証を受けていません

受付可能な文書

- 従業員ハンドブックに関連する問題をカバーしている場合
- 環境マネジメントシステムのマニュアル
- 社内マネジメントシステムのスクリーンショット指定されたマネジメントシステムとの明確な関連性を示している場合
- 関連手順を示すプロセスフロー
- 監査報告書または監査是正計画書
- 環境の評価と改善に関する証拠

ご注意ポリシー文書は、認証を受けていないマネジメントシステムの証拠として受け付けられません



アップロードする文書は、対応言語英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語である必要があります。

関連文書をアップロードしてくださいpdf、画像15MB以下

 No file selected

いいえ

回答

12. この事業所には、エネルギーマネジメントシステムがありますか? (3.76%)

▶ エネルギーマネジメントシステム

エネルギーマネジメントシステム²認証取得済み、または未取得のもの²には、この事業所全体のエネルギー資源と効率性を統制、管理、改善するためのプロセスが含まれます。

はい、国際的に認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています

受付可能な文書

国際的に認められている認証を受けたエネルギーマネジメントシステム²

- ISO 50001

新しい証明書をお待ちの場合は、証明書の原本とともに、証明の延長を確認する旨が記載された認証機関の手紙をアップロードしてください。

! アップロードする文書では、当該事業所が認証の範囲に含まれている必要があります

認証基準

認証機関

認証番号

有効期限

月 日 年

関連文書をアップロードしてください²pdf、画像²15MB以下²

Choose File No file selected

はい、国内で認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています

受付可能な文書

弊社では国内の認証基準を受け付けているほか、関連する認証機関の証明書についても検証を行うよう努めます。

新しい証明書をお待ちの場合は、証明書の原本とともに、証明の延長を確認する旨が記載された認証機関の手紙をアップロードしてください。

ガイダンス

(ref:12) エネルギーマネジメントシステムは、継続的にエネルギーパフォーマンスを向上させ、最大限にエネルギーを節約する体系的なプロセスです。マネジメントシステムは、社内で開発することも、国家規格または国際規格に基づいて開発することも可能です。認証を受けたマネジメントシステムは、企業が持続可能な方法で事業にコミットし、必要なプロセスをすべて導入していることを顧客やステークホルダーに力強く保証するものです。なお、SAQでは社内で開発された、認証を受けていないマネジメントシステムも評価していますが、国際的に認められている基準に基づき認証を受けたマネジメントシステムであれば、最も高いスコアの取得が可能です。

関連性のある国際的に認められた認証基準の例²

- ISO 50001 - エネルギーマネジメント

(ref:13) 再生可能エネルギー源は、時間の経過とともに自然に補充され、枯渇することのないエネルギー資源です。以下のエネルギー資源が、再生可能なものに分類されます²

- 風力
- 太陽光
- 水力
- バイオマス
- 地熱
- 海洋

(ref:15) 温室効果ガスプロトコルによると、効果的な温室効果ガス²GHG²管理の要は、GHGの排出削減目標の設定、目標に対するパフォーマンスの追跡です。排出削減目標がカバーするものには以下が挙げられます²

- スコープ1 - 事業者自らによるオンサイトでの燃料燃焼等を発生源とする直接排出
- スコープ2 - 他社から購入した電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出
- スコープ3 - 上流・下流での排出を含む、企業のバリューチェーンでの活動に関連する間接排出

認証基準

認証機関

認証番号

有効期限

月 日 年

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

はい、ただしシステムは認証を受けていません

受付可能な文書

- 従業員ハンドブック(関連する問題をカバーしている場合)
- エネルギーマネジメントシステムのマニュアル
- 社内マネジメントシステムのスクリーンショット(指定されたマネジメントシステムとの明確な関連性を示している場合)
- 関連手順を示すプロセスフロー
- 監査報告書または監査是正計画書
- カーボントラストレポート
- エネルギーの評価と改善に関する証拠

ご注意:ポリシー文書は、認証を受けていないマネジメントシステムの証拠として受け付けられません

! アップロードする文書は、対応言語(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語)である必要があります。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ

13. 前年にこの事業所で使用された電力のうち、再生可能資源によるものは何パーセントを占めましたか?

受付可能な文書

- エネルギー消費の請求書および/または証明書
- グリーン電力料金の証拠
- エネルギー契約再生可能エネルギー源がカバーされている場合
- グリーン電力購入契約PPA
- グリーン電力証書REC
- 電力が再生可能資源由来であることを証明するその他の文書

関連文書をアップロードしてくださいpdf、画像15MB以下

Choose File No file selected

14. 前年にこの事業所で使用された冷暖房のうち、再生可能資源によるものは何パーセントを占めましたか

受付可能な文書

- エネルギー消費の請求書および/または証明書
- グリーン電力料金の証拠
- エネルギー契約再生可能エネルギー源がカバーされている場合
- グリーン電力購入契約PPA
- グリーン電力証書REC
- 冷暖房が再生可能資源由来であることを証明するその他の文書

関連文書をアップロードしてくださいpdf、画像15MB以下

Choose File No file selected

15. 御社では、温室効果ガス排出削減目標を設定していますか

▶ 温室効果ガス排出削減目標

企業は、以下の通りさまざまなGHG削減目標を設定することが可能です

- 全ての排出量スコープ1スコープ2スコープ3の合計排出量に対する単一目標
- スコープ3の合計排出量に対する単一目標
- 目標の組み合わせ、例えばスコープ123の合計排出量に対する目標およびスコープ3の個別カテゴリに対する目標

はい

受付可能な文書

- 削減目標を含む報告書
- 削減目標を表示するイントラネットのスクリーンショット
- 削減目標を表示するウェブサイトのスクリーンショット
- その他、温室効果ガス排出削減目標を証明する文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ

15a. 当該目標は「科学に基づく目標設定イニシアチブ(SBTi)」による認定を取得していますか?

▶ GHG削減目標に特化したイニシアチブ

「科学に基づく目標設定イニシアチブ」「SME Climate Hub」「Race to Zero」など、GHG排出削減目標の設定とその検証をサポートするイニシアチブはいくつかあります。こうしたイニシアチブは、2050年までに排出量ネットゼロを達成する、というパリ協定の目標に寄与するため、企業が満たすべき基準を定めています。

はい

! 弊社では、当該目標が「科学に基づく目標設定イニシアチブ(SBTi)」による認定を取得していることを確認いたします

認定を取得したSBTi目標に関連付けられた国際証券識別番号(ISIN)を入力してください
ISINは、アルファベットと数字を組み合わせた全12桁のコードです。例: AB1234567CD8

いいえ、ただしその他の基準「SME Climate Hub」「Race to Zero」またはこれに準じるものに従っています

いいえ

15b. 御社では、上流サプライチェーンの排出量(スコープ3)について、排出削減目標を設定していますか?

▶ スコープ3の排出量

スコープ3 - 御社のバリューチェーンでの活動に関連する間接排出(上流および下流での排出量を含む)

はい

受付可能な文書

- スコープ3の削減目標を含む報告書
- スコープ3の削減目標を表示するイントラネットのスクリーンショット
- スコープ3の削減目標を表示するウェブサイトのスクリーンショット
- その他、スコープ3の温室効果ガス排出削減目標を証明する文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ

回答

16. この事業所では、生産または運営において、国内・国際的な法規定に基づく規制を伴う物質を使用していますか？ (5.85%)

▶ 規制を伴う物質

規制は、化学物質がもたらす受け入れられないリスクから、人間の健康と環境を守るための手段です。規制は、物質の製造、上市、使用を制限したり、禁止する場合があります。規制は、物質そのもの、混合物や成形品に含まれる物質の登録が義務付けられていないものを含むに適用されます。また、輸入品にも規制は適用されます。

危険有害制限対象物質の例：6価クロム、鉛、アゾ染料、DMF、ジメチルホルムアミド、PAHs、多環芳香族炭化水素、フタル酸エステル類、PFOS、ペルフルオロオクタンスルホン酸、ニッケル溶出
出典：欧州化学品庁

規制を伴う物質や化学物質の取り扱いの規制としては、以下の例が挙げられます。

REACH 化学物質の登録、評価、認可および制限は、化学物質の製造と使用、およびそれらが人間の健康と環境に与える影響に関する欧州連合の規則 Regulation です。当該規則は物質、調剤、成形品について定義し、これらを対象としています。製造業者と輸出業者には、取り扱う化学物質の性質に関する情報を収集し、欧州化学品庁が運用する中央データベースに情報を登録することが義務付けられています。

RoHS指令 特定有害物質の使用制限または、電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に関する指令 2011/65/EU では、許容濃度を超える鉛、カドミウム、水銀などの物質を含む電気・電子機器の新製品について、EU域内での上市が禁止されています。

ELV指令 2000/53/EC は、自動車から生じる廃棄物の抑制、さらに使用済み自動車とその部品のリユース、リサイクルおよびその他の回収を通じた廃棄物の削減、自動車のライフサイクルにかかわるすべての事業者、特に使用済み自動車の処理に直接かかわる事業者の環境パフォーマンスの向上を目的とした措置を定めたものです。

「水銀に関する水俣条約」 水銀添加製品の製造は、附属書Aの適用除外、登録された適用除外、または国から締約国会議に報告された製品について代替となる戦略がある場合に許可されます (第4条2、a)。製造工程における水銀または水銀化合物の使用は、附属書B、または登録された適用除外に基づき許可されます (第5条2、第6条)。同条約には、水銀の暫定的保管、水銀廃棄物の処分、水銀により汚染された場所、健康を害する危険性についての規定もあります。水銀廃棄物は第11条3の規定に従って取り扱われる必要があります。

「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」 この条約は締約国に対し、環境中への残留性有機汚染物質 (POPs) の放出削減・廃絶に向けた措置を講じるよう求めています。製造と使用は、実験室規模の研究または参照の標準として (第3条5)、あるいは附属書Iに掲げる適用除外、規則 EU 2019/1021 第4条2の第1文目が定める猶予期間、規則 EC No.850/2004の附属書I PartBに基づいて、認められています。取り扱い、回収、保管、処分は第6条に基づき許可されます。

「バーゼル条約」 は、第三国および一部の締約国との有害廃棄物の輸出入を禁止しています。同条約の規定に加え、有害廃棄物の定義を巡っては、指令 91/689/EEC を考慮する必要があります。

はい

いいえ

回答

16a. この事業所では、何らかの法規の下で規制を伴う物質の管理手順を明文化していますか?

▶ 規制を伴う物質の管理手順

企業の規模や携わる産業に関係なく、規制を伴う物質の管理手順は現地の法律やガイドラインを順守していることを証明する必要があります。

はい

受付可能な文書

- 関連手順を表示したマネジメントシステムマニュアルのコンテンツページ
- 安全データシート
- 欧州化学物質庁(ECHA)への登録証明書
- 関連手順を示すプロセスフロー
- 規制を伴う物質に関するポリシー
- 製品安全データシート(MSDS)

当該事業所が範囲に含まれる場合は、以下の第三者発行の証明書

- REACHまたはRoHS指令の適合証明書
- ISO 14001範囲に規制を伴う物質が含まれる場合
- EMAS範囲に規制を伴う物質が含まれる場合
- RC 14001(RCMSを含む)
- IECQ HSPM認証/IECQ規格 QC 080000
- SQAS安全・品質評価システム

! アップロードする文書は、対応言語(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語)である必要があります。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像)15MB以下

No file selected

いいえ

16b. これらの明文化した手順では、以下のどの分野がカバーされていますか?
該当するものすべてにチェックを入れてください。

水銀添加製品の製造、製造工程における水銀および水銀化合物の使用、水銀廃棄物の処理
「水俣条約」を参照

残留性有機汚染物質の製造と使用
「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」を参照

残留性有機汚染物質廃棄物の取り扱い、収集、保管、処分
「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」を参照

有害廃棄物の輸出

「有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約」を参照

有害廃棄物の輸入

「有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約」を参照

その他

その他の場合は、詳細を入力してください

回答

17. 御社には現在CDPスコアがありますか?

はい

ガイダンス

CDPは企業に対し、CDPの気候変動、水、フォレスト、サプライチェーンプログラムへの参加を通じた環境影響の測定・管理を奨励するスコアリング方法を採用しています。CDPの各アンケート(気候変動、水、フォレスト)に個別のスコアリング方法があります。

受付可能な文書

- CDPレポートの宛先は、御社名である必要があります(本社名でも可)
- CDPレポートは最新のもの(過去12カ月以内に発行されたもの)である必要があります

この質問では、CDPが作成した最終スコアレポート(質問書ではありません)を必ずアップロードしてください。

CDPスコアレポートのダウンロード方法の詳細については、[CDPの企業向けガイダンス](#)にアクセスしてください。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像(15MB以下))

No file selected

いいえ

17a. 気候変動に関連するCDPスコアを教えてください。

スコア 年

17b. 水に関連するCDPスコアを教えてください。

スコア 年

17c. フォレストに関連するCDPスコアを教えてください。

スコア 年

回答

F. 責任あるサプライチェーンマネジメント

18. 御社では、サプライヤーに対するCSR/サステナビリティ要件を定めていますか? (10.04%)

▶ サプライヤーに対するCSR要件

サプライヤーに対するCSR/サステナビリティ要件は多くの場合、社内の従業員、およびサプライヤーなど外部の事業パートナーの双方に適用される、特定のサプライヤー行動規範文書または企業行動関連文書の中で提示されます。この目的は、当該CSR要件を通じて、サプライチェーン全体で健全な労働条件、人権保護、環境責任を推進することにあります。

はい

受付可能な文書

- サプライヤーサステナビリティポリシー
- CSR/サステナビリティポリシー²サプライヤーによる順守への言及を含む²
- サプライヤーによる順守に明確に言及したサプライヤー行動規範
- サステナビリティに言及した、サプライヤーに適用される一般購買契約

! アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語²英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語²である必要があります。

関連文書をアップロードしてください²pdf、画像²15MB以下²

No file selected

いいえ

18a. これらのCSR/サステナビリティ要件では、どの分野がカバーされていますか?該当するものすべてにチェックを入れて下さい。

! アップロードした文書において、以下で選択したポリシー分野がすべてカバーされていない場合、検証プロセスでギャップが指摘されます。当該文書でカバーされていないポリシー分野については、スコアは付与されません。

▶ 人権および労働条件

人権を巡る期待事項として、サプライヤーとそのサプライチェーンは人権を保持・保護することが求められます。

児童労働と若年労働者

賃金と手当

労働時間

現代の奴隷制²すなわち奴隷、隷属、強制または義務的労働、人身取引²

倫理的な採用

結社の自由と団体交渉

差別およびハラスメントの禁止

女性の権利

ダイバーシティ、平等、インクルージョン

マイノリティおよび先住民族の権利

土地・森林・水資源の権利および強制退去

民間・公共警備の利用

▶ 安全衛生

安全衛生を巡る期待事項として、サプライヤーとそのサプライチェーンは規制を順守し、安全な労働環境を維持することが求められます。

安全衛生

▶ 企業倫理

企業倫理を巡る期待事項として、サプライヤーとそのサプライチェーンはその活動において透明性を確保し、責任を持ち、倫理的に対応することが求められます。

腐敗防止とマネーロンダリング防止

データ保護とデータセキュリティ

財務責任²正確な記録²

情報の開示

公正競争と反トラスト

▶ 環境

▶ 上流のサプライーマネジメント

利益相反

模倣品

知的財産

輸出規制と経済制裁

内部告発と報復からの保護

環境を巡る期待事項として、サプライヤーとそのサプライチェーンは環境影響に対して責任を持ち、配慮することが求められます。

温室効果ガス排出量の報告

エネルギー効率

再生可能エネルギー

脱炭素化

水質、水の消費と管理

大気環境

責任ある化学物質管理

持続可能な資源管理

廃棄物削減

リユースとリサイクル

動物福祉

生物多様性、土地利用、森林破壊

土壌の質

騒音放射

その他の分野

詳細を入力してください

上流のサプライーマネジメントとは、サプライヤーが、自身のサプライヤーに対するCSR/サステナビリティ要件を確実に確立するなど、サプライチェーン全体でのサステナビリティ要件の実施を意味します。

自社のティア1サプライヤーを対象とする同様の基準の定義と導入

ティア1サプライヤーに対してサプライチェーン全体への基準の周知を求める、拘束力のある要件

回答

18b. 御社では、サプライヤーCSR/サステナビリティ要件を、サプライヤーに周知する際に、以下のいずれか的手段を利用していますか?該当するものすべてにチェックを入れてください。

契約条件への記載

受付可能な文書

- サステナビリティに言及した、サプライヤー契約条件
- サステナビリティに言及した、サプライヤーに適用される一般購買契約

関連文書をアップロードしてください?pdf、画像??15MB以下?

Choose File No file selected

サプライヤー研修

受付可能な文書

- eラーニングのスクリーンショット
- 研修資料?例?パワーポイントによるプレゼンテーション資料?
- その他、トピック分野に関連する研修を計画または実施していることを示す文書

関連文書をアップロードしてください?pdf、画像??15MB以下?

Choose File No file selected

サプライヤー行動規範/サプライヤーサステナビリティポリシー

受付可能な文書

- サプライヤーサステナビリティポリシー
- CSR/サステナビリティポリシー?サプライヤーによる順守への言及を含む?
- サプライヤーによる順守に明確に言及した、サプライヤー行動規範

関連文書をアップロードしてください?pdf、画像??15MB以下?

Choose File No file selected

自社のウェブサイト/サプライヤーポータル

受付可能な文書

- サステナビリティに言及した、サプライヤーポータルのスクリーンショット
- サプライヤーサステナビリティ要件に言及した、ウェブサイトのスクリーンショット

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

 No file selected

該当なし

18c. 御社では、サプライヤーが御社のサステナビリティ要件を満たしていることを確認するために、どのようなプロセスを導入していますか?

▶ サプライヤー・モニタリングのプロセス

企業がサプライヤーに対して要件を設定する場合、サプライヤーの事業活動における当該要件の実施状況を監視する規定が必要です。サプライヤーのモニタリングにより、情報が収集できるほか、協調して積極的に改善すべき領域を特定できます。これは以下を通じて達成可能です

- 第三者監査登録機関認証機関または規制当局などの第三者機関により行われる外部監査です。
- 第三者監査顧客または代理のものにより実施される外部監査です。規制当局、または組織内に正当な利益を有する外部関係者により実施されることもあります。
- 自己評価アンケートSAQサプライチェーンのCSR・サステナビリティ活動を評価し、潜在的な改善点を特定するために利用できます。

認定された監査機関が実施する第三者監査

受付可能な文書

- 第三者監査報告書
- 第三者発行の証明書
- 監査に言及した、第三者監査法人からの手紙
- 第三者監査を計画または実施していることを証明する文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

 No file selected

御社が実施する第三者監査

受付可能な文書

- 第三者監査報告書
- 御社がそのサプライヤーに対する監査を計画または実施していることを証明する文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

 No file selected

自己評価アンケート

受付可能な文書

- 自己評価アンケート
- オンラインモニタリングシステムの詳細またはサプライヤーの自己評価プロセスに言及した文書
- SUPPLIER ASSURANCEカスタマーレター

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

該当なし

19. 御社では、デューディリジェンス活動の一環として、サステナビリティを巡るリスク評価を実施していますか?

はい

いいえ

19a. リスク評価の範囲を教えてください。該当するものすべてにチェックを入れて下さい。

自社の事業分野

直接的なサプライヤーティア1

間接的なサプライヤーティアn

19b. 御社では、リスク評価をどのくらいの頻度で実施していますか?

毎年

隔年

リスク状況の著しい変化が予想される場合にその時点で

苦情などから何らかの違反の恐れがあると判断した場合にその時点で

その他

回答

G. 責任ある原材料調達

20. 御社の製品には、以下のいずれかの原材料が含まれますか?該当するものすべてにチェックを入れてください。(4.38%)

アルミニウム/ボーキサイト

クロム

コバルト

銅

コットン

ガラス?ケイ砂?

金

黒鉛?天然?

革

リチウム

マグネシウム

マンガン

マイカ?雲母?

モリブデン

ニッケル

ニオブ

ガイダンス

(ref:20) プラチナは白金族金属?PGM?の1つで、重要な原材料のリストに追加されました。プラチナは、パラジウムとロジウムと並んで現在自動車産業で最も消費量が多くなっています。

- パラジウム
- プラチナ
- ポリシリコン
- レアアース^②希土類元素^②
- ロジウム
- 天然ゴム
- 鋼/鉄
- タンタル
- スズ
- タングステン
- 亜鉛
- 該当なし

回答

20a. 御社には、これらの原材料の責任ある調達に関するポリシーがありますか?

▶ 責任ある原材料調達

責任ある原材料調達ポリシーは、上級幹部によって合意された正式な文書で、持続可能で倫理的な原材料調達への企業のコミットメントを表明するものです。原材料とは、商品の製造で使用される一次産品のことです。原材料を含む製品を提供する企業は、自社の製品で使用されている原材料の調達先を理解するためデューデリジェンスを実施することが期待されます。

企業への期待事項

- 人権侵害、贈収賄、倫理違反、環境負荷に関与しないことを徹底
- 自社が生産する製品に含まれるスズ、タングステン、タンタル、金の調達に際し、検証されたコンフリクトフリーの製錬・精製業者を利用

参照責任ある鉱物イニシアチブ

優先材料、生産国、関連する環境・社会・ガバナンスの問題の詳細については、[Raw Materials Outlook](#)および [材料変更報告書](#)(Material Change report)を参照してください。



はい

受付可能な文書

- 責任ある原材料調達をカバーするポリシー(例:責任ある調達/購買ポリシー)
- 紛争鉱物に関するステートメント/ポリシー
- 責任ある原材料調達をカバーするサプライヤー行動規範
- 責任ある原材料調達をカバーするCSR/サステナビリティポリシー
- 責任ある原材料調達に関する情報をまとめた合意書/購買文書



アップロードする文書は、御社の社名またはロゴを含み、対応言語(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国・北京語、ブラジル・ポルトガル語)である必要があります。

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像)15MB以下

 No file selected

いいえ

20a.1. 当該ポリシーは、以下のどの原材料をカバーしていますか(該当するものすべてにチェックを入れてください)。

アルミニウム/ボーキサイト

クロム

コバルト

- 銅
- コットン
- ガラス^②ケイ砂^②
- 金
- 黒鉛^②天然^②
- 革
- リチウム
- マグネシウム
- マンガン
- マイカ^②雲母^②
- モリブデン
- ニッケル
- ニオブ
- パラジウム
- プラチナ
- ポリシリコン
- レアアース^②希土類元素^②
- ロジウム
- 天然ゴム
- 鋼/鉄

タンタル

スズ

タングステン

亜鉛

20b. 御社は、原材料に特化したイニシアチブに参加していますか?

はい

受付可能な文書

- 会員資格を提供する文書
- 原材料関連イニシアチブの一員であることを証明するその他の文書

関連文書をアップロードしてください(pdf、画像15MB以下)

Choose File No file selected

いいえ

20c. 御社には、企業を申告範囲とする紛争鉱物報告テンプレートCMRTがありますか?

▶ 範囲に関するガイダンス

紛争鉱物報告テンプレートCMRTは、責任ある鉱物イニシアチブRMIが開発した無料の標準報告テンプレートで、鉱物の原産国と利用する製錬・精製業者に関し、サプライチェーンを通じた情報の収集を円滑にします。

はい

RMIのウェブサイト上の最新版CMRTテンプレートを使用し、入力・アップロードしてください

Choose File No file selected

いいえ
RMIのウェブサイト上の最新版CMRTテンプレートを使用し、入力・アップロードしてください

20d. 御社には、企業を申告範囲とする拡張鉱物報告テンプレートEMRTがありますか?

▶ 範囲に関するガイダンス

拡張鉱物報告テンプレート^②EMRT^②は、[責任ある鉱物イニシアチブ^②RMI^②](#)が開発した無料の報告テンプレートで、コバルトとマイカ^②雲母^②のサプライチェーンにおけるピンチポイントを特定し、デューディリジェンス情報を収集します。

はい

RMIのウェブサイト上の最新版EMRTテンプレートを使用し、入力・アップロードしてください

No file selected

いいえ

RMIのウェブサイト上の最新版EMRTテンプレートを使用し、入力・アップロードしてください

回答

21. 御社には責任ある原材料調達に関するマネジメントシステムがありますか、またはサプライチェーン・マッピングを実施していますか? (1.46%)

はい

受付可能な文書

- 責任ある原材料調達をカバーしたマネジメントシステム
- プロセスおよび手順の概要をまとめた原材料調達マニュアル
- 社内マネジメントシステムのスクリーンショット
- 原材料調達レポート
- サプライチェーンマッピングイニシアチブの証拠または報告書

関連文書をアップロードしてください?pdf、画像?15MB以下?

No file selected

いいえ

回答

H. 追加情報

22. 以下の欄は、追加情報²ポリシーに関するコメント、認証取得の時期など²の入力にご利用ください。

このフィールドに入力された情報は、こちらのSAQにアクセスできる全バイヤーが閲覧可能となりますのでご注意ください。バイヤー固有の情報は含めないようお願いいたします。

追加情報

回答

I. サインオフ

SAQ 5.0の終了まであと少しです。アンケートが提出され、バイヤーと共有されるまでは、レビューおよび検証は行われませんのでご注意ください。

こちらのSAQを提出し検証を受けるには、本ページの下部にある「提出」をクリックしてください。SAQの共有に際してご不明な点がある場合は、ライブチャットを利用して、弊社のサービスセンターまでお問い合わせください。

次のステップは

SAQが提出されると、SUPPLIERASSURANCEチームはアップロードされた証拠をレビューし、文書が受付可能であること、また選択された回答をカバーしていることを確かめます。

SAQの回答と証拠のレビューが終了すると、結果はメールで通知され、スコアのほか、アップロードした証拠で検出されたギャップ、改善のための推奨事項を確認できます。その後、ギャップに対応するため、またはサステナビリティ関連パフォーマンスの改善を証明するために、SAQを更新することが可能です。

SAQ 5.0スコアリングシステム

質問	アンケート回答	サステナビリティスコア
1. 御社では、環境、社会、倫理または人権に関する上級管理職の担当者を任命していますか?	はい	0.00%
	いいえ	0.00%
1a. 御社には、社会のサステナビリティ関連の担当責任者がいますか?	はい	0.93%
	いいえ	0.00%
1b. 御社には、コンプライアンス/企業倫理関連の担当責任者がいますか?	はい	0.93%
	いいえ	0.00%
1c. 御社には、環境のサステナビリティ関連の担当責任者がいますか?	はい	0.93%
	いいえ	0.00%
1d. 御社には、サステナビリティにかかわるリスク管理業務を監視する担当者 ^例 人権担当者 ^例 がいますか?	はい	0.93%
	いいえ	0.00%
指標の最大スコア		3.71%
2. 御社では、企業の社会的責任 ^例 CSR ^例 /サステナビリティ報告書を発行していますか?	はい、グローバル・レポーティング・イニシアチブ ^例 GRI ^例 スタンダードまたは世界的に認められた基準に従った独立した報告書として発行しています	3.00%
	はい、GRIスタンダードまたは世界的に認められた基準に従った年次報告書 ^例 年次報告書やサステナビリティ報告書 ^例 に統合して発行しています	3.00%
	はい、ただし世界的に認められた基準には従っていません	1.50%
	いいえ	0.00%
質問の最大スコア		3.00%
2a. 最新の報告書は、第三者保証を受けていますか?	はい、当該報告書に保証報告書は含まれています	0.19%
	部分的に保証されており、範囲は保証報告書で説明されています	0.19%
	いいえ	0.00%
質問の最大スコア		0.19%
2b.1. CSR報告書では、人権に関しどのような内容を開示していますか?	自社が特定した潜在・顕在する人権関連のリスク	0.06%
	自社が人権関連のリスクに対処し、その有効性を評価するために講じた既存の対策に関する説明	0.06%
	自社が人権関連のリスクの管理に向けて将来的に講じる予定の対策に関する説明	0.06%
	自社の人権関連のリスクに関して報告はしていません	0.00%
質問の最大スコア		0.19%
2b.2. CSR報告書では、環境に関しどのような内容を開示していますか?	自社が特定した環境関連のリスク	0.06%

自社が環境関連のリスクに対処し、その有効性を評価するために講じた既存の対策に関する説明		0.06%
自社が環境関連のリスクの管理に向けて将来的に講じる予定の対策に関する説明		0.06%
自社の環境関連のリスクに関して報告はしていません		0.00%
質問の最大スコア		0.19%
2c. 御社では、前年度の法定デューディリジェンス義務の履行に関する報告 ² 例 ² ドイツのLkSG「サプライチェーンにおける企業のデューディリジェンス義務に関する法律」 ² を毎年行っていますか ²	はい	0.19%
	いいえ	0.00%
質問の最大スコア		0.19%
指標の最大スコア		3.75%
3. 御社には、行動規範がありますか ²	はい	6.00%
	いいえ	0.00%
質問の最大スコア		6.00%
3a. 御社では、行動規範について、従業員に対する研修を提供していますか ²	はい	4.00%
	いいえ、ただしエクストラネット/パンフレットなどで行動規範を周知しています	2.00%
	いいえ	0.00%
質問の最大スコア		4.00%
指標の最大スコア		10.00%
4. 御社はこの事業所において、苦情処理メカニズムまたは文書化した苦情処理手続きを整備していますか ²	はい	3.00%
	いいえ	0.00%
質問の最大スコア		3.00%
4a. 御社の苦情処理メカニズムまたは苦情処理手続きにはどのような特徴がありますか ² 以下、該当するものすべてにチェックを入れてください。	苦情処理手続きの責任者に関する概要を提示している ² 該当する場合 ² 第三者が直接または外部サービスプロバイダーを通じて連絡できる苦情処理機関が設置されている ²	0.02%
	企業から委任された当該責任者は公平で独立した立場にあり、いずれの指示にも拘束されない	0.02%
	明文化した苦情処理手続きの規定で、苦情処理方法の概要と各段階で要する時間の目安を提示している	0.02%
	明文化した苦情処理手続きの規定は、自社が事業を行うすべての国において、現地語で公開されている	0.02%
	苦情申立人に対して、申し立ての際に受領確認を行う	0.02%
	苦情申立人の身元は公開されない	0.02%
	苦情申立人に対する報復の禁止へのコミットメント	0.02%
	匿名で苦情を申し立てることができる	0.02%

改善/解決に際し、苦情申立人またはその代理人の意見が考慮される	0.02%
苦情処理手続きの有効性に関する評価を、少なくとも12カ月に1回、および必要に応じて行う	0.02%
不服申立手続き	0.02%
上記のいずれにも該当しない	0.00%

質問の最大スコア 0.19%

4b. どのような苦情を申し立てられますか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。

人権に関する苦情	0.06%
環境に関する苦情	0.06%
倫理に反する商慣行	0.06%

質問の最大スコア 0.19%

4c. 苦情処理メカニズムを利用できるのは、どのステークホルダー・グループですか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。

内部のステークホルダー? 自社の正社員/非正社員、直接的なサプライヤー、サービスプロバイダーなど?	0.09%
外部のステークホルダー? 請負業者、間接的なサプライヤー、地域社会など?	0.09%
その他	0.00%

質問の最大スコア 0.19%

4d. 苦情処理手続きを利用する権利を持つ、すべてのステークホルダー・グループに対して、当該手続きへのアクセスをどのように最適化していますか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。

研修の実施を通じて	0.06%
多様なメディアを通じて	0.06%
オンライン	0.00%
電話	0.00%
電子メール? Email?	0.00%
アプリ	0.00%
業界共同の苦情処理手続きへの参加を通じて	0.06%
上記のいずれにも該当しない	0.00%

質問の最大スコア 0.19%

指標の最大スコア 3.75%

5. 御社には、人権および労働条件をカバーする正式なポリシーがありますか?

はい	0.00%
いいえ	0.00%

5a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。

児童労働と若年労働者	0.29%
賃金と手当	0.29%
労働時間	0.29%
現代の奴隷制? すなわち奴隷、隷属、強制または義務的労働、人身取引?	0.29%
倫理的な採用	0.29%

結社の自由と団体交渉	0.29%
差別およびハラスメントの禁止	0.29%
女性の権利	0.29%
ダイバーシティ、平等、インクルージョン	0.29%
マイノリティおよび先住民族の権利	0.29%
土地・森林・水資源の権利および強制退去	0.29%
民間・公共警備の利用	0.29%

質問の最大スコア	3.48%
----------	-------

5b. 御社では、 人権および労働条件ポリシー について、従業員に対する研修を提供していますか？	はい	2.32%
	いいえ、ただしイントラネット/パンフレットなどで周知しています	1.16%
	いいえ	0.00%

質問の最大スコア	2.32%
----------	-------

指標の最大スコア	5.80%
----------	-------

6. この事業所では、 人権および労働条件の問題 を管理するマネジメントシステムを導入していますか？	はい、国際的に認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています	10.00%
	はい、国内で認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています	7.50%
	はい、ただしシステムは認証を受けていません	5.00%
	いいえ	0.00%

指標の最大スコア	10.00%
----------	--------

7. 御社では、現地の法律、業界の要件、国際的な基準に準拠した、正式に明文化した 安全衛生ポリシー を導入していますか？	はい	0.00%
	いいえ	0.00%

7a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。	個人用防護具	0.50%
	機械の安全性	0.50%
	緊急時への備え	0.50%
	事件・事故のマネジメント	0.50%
	職場の人間工学	0.50%
	化学物質および/または生物学的物質の取り扱い	0.50%
	防火	0.50%

質問の最大スコア	3.48%
----------	-------

7b. 御社では、 安全衛生ポリシー について、従業員に対する研修を提供していますか？	はい	2.32%
	いいえ、ただしイントラネット/パンフレットなどで周知しています	1.16%
	いいえ	0.00%

質問の最大スコア		2.32%
指標の最大スコア		5.80%
8. この事業所では、安全衛生マネジメントシステムを導入していますか?	はい、国際的に認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています	10.00%
	はい、国内で認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています	7.50%
	はい、ただしシステムは認証を受けていません	5.00%
	いいえ	0.00%
指標の最大スコア		5.80%
9. 御社には、企業倫理をカバーする正式なポリシーがありますか?	はい	0.00%
	いいえ	0.50%
9a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか?該当するものすべてにチェックを入れてください。	腐敗防止とマネーロンダリング防止	0.35%
	データ保護とデータセキュリティ	0.35%
	財務責任?正確な記録?	0.35%
	情報の開示	0.35%
	公正競争と反トラスト	0.35%
	利益相反	0.35%
	模倣品	0.35%
	知的財産	0.35%
	輸出規制と経済制裁	0.35%
	内部告発と報復からの保護	0.35%
質問の最大スコア		3.48%
9b. 御社では、企業倫理ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか?	はい	2.32%
	いいえ、ただしイントラネット/パンフレットなどで周知しています	1.16%
	いいえ	0.00%
質問の最大スコア		2.32%
指標の最大スコア		5.80%
10. 御社には、法令順守のほか、環境パフォーマンスにおける継続的な測定・改善へのコミットメントをまとめた、正式な環境ポリシーがありますか?	はい	0.00%
	いいえ	0.00%
10a. 当該ポリシーは、以下のどの分野をカバーしていますか?該当するものすべてにチェックを入れてください。	温室効果ガス排出量の報告	0.25%
	エネルギー効率	0.25%
	再生可能エネルギー	0.25%
	脱炭素化	0.25%

水質、水の消費と管理	0.25%
大気環境	0.25%
責任ある化学物質管理	0.25%
持続可能な資源管理	0.25%
廃棄物削減	0.25%
リユースとリサイクル	0.25%
動物福祉	0.25%
生物多様性、土地利用、森林破壊	0.25%
土壌の質	0.25%
騒音放射	0.25%
その他の分野	0.00%

質問の最大スコア	3.48%
----------	-------

10b. 御社では、環境ポリシーについて、従業員に対する研修を提供していますか?	はい	2.32%
	いいえ、ただしイントラネット/パンフレットなどで周知しています	1.16%
	いいえ	0.00%

質問の最大スコア	2.32%
----------	-------

指標の最大スコア	5.80%
----------	-------

11. この事業所では、環境マネジメントシステムを導入していますか?	はい、国際的に認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています	10.00%
	はい、国内で認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています	8.00%
	はい、ただしシステムは認証を受けていません	6.00%
	いいえ	0.00%

指標の最大スコア	10.00%
----------	--------

12. この事業所には、エネルギーマネジメントシステムがありますか?	はい、国際的に認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています	3.75%
	はい、国内で認められている認証を受けたマネジメントシステムを導入しています	2.81%
	はい、ただしシステムは認証を受けていません	1.88%
	いいえ	0.00%

指標の最大スコア	3.75%
----------	-------

16. この事業所では、生産または運営において、国内・国際的な法規定に基づく規制を伴う物質を使用していますか?	はい	0.00%
	いいえ	5.80%

質問の最大スコア	5.80%
----------	-------

16a. この事業所では、何らかの法規の下で規制を伴う物質の管理手順を明文化していますか?	はい	5.80%
	いいえ	0.00%
質問の最大スコア		5.80%
18. 御社では、サプライヤーに対するCSR/サステナビリティ要件を定めていますか?	はい	0.00%
	いいえ	0.00%
18a. これらのCSR/サステナビリティ要件では、どの分野がカバーされていますか?該当するものすべてにチェックを入れて下さい。	児童労働と若年労働者	0.08%
	賃金と手当	0.08%
	労働時間	0.08%
	現代の奴隷制すなわち奴隷、隷属、強制または義務的労働、人身取引	0.08%
	倫理的な採用	0.08%
	結社の自由と団体交渉	0.08%
	差別およびハラスメントの禁止	0.08%
	女性の権利	0.08%
	ダイバーシティ、平等、インクルージョン	0.08%
	マイノリティおよび先住民族の権利	0.08%
	土地・森林・水資源の権利および強制退去	0.08%
	民間・公共警備の利用	0.08%
	安全衛生	1.00%
	腐敗防止とマネーロンダリング防止	0.10%
	データ保護とデータセキュリティ	0.10%
	財務責任?正確な記録?	0.10%
	情報の開示	0.10%
	公正競争と反トラスト	0.10%
	利益相反	0.10%
	模倣品	0.10%
	知的財産	0.10%
	輸出規制と経済制裁	0.10%
	内部告発と報復からの保護	0.10%
温室効果ガス排出量の報告	0.07%	
エネルギー効率	0.07%	
再生可能エネルギー	0.07%	
脱炭素化	0.07%	

水質、水の消費と管理	0.07%
大気環境	0.07%
責任ある化学物質管理	0.07%
持続可能な資源管理	0.07%
廃棄物削減	0.07%
リユースとリサイクル	0.07%
動物福祉	0.07%
生物多様性、土地利用、森林破壊	0.07%
土壌の質	0.07%
騒音放射	0.07%
その他の分野	0.07%
自社のティア1サプライヤーを対象とする同様の基準の定義と導入	0.50%
ティア1サプライヤーに対してサプライチェーン全体への基準の周知を求める、拘束力のある要件	0.50%

質問の最大スコア	5.00%
----------	-------

18b. 御社では、サプライヤーCSR/サステナビリティ要件を、サプライヤーに周知する際に、以下のいずれかの手段を利用していますか?該当するものすべてにチェックを入れてください。

契約条件への記載	1.00%
サプライヤー研修	0.70%
サプライヤー行動規範/サプライヤーサステナビリティポリシー	0.50%
自社のウェブサイト/サプライヤーポータル	0.30%
該当なし	0.00%

質問の最大スコア	2.50%
----------	-------

18c. 御社では、サプライヤーが御社のサステナビリティ要件を満たしていることを確認するために、どのようなプロセスを導入していますか?

認定された監査機関が実施する第三者監査	1.00%
御社が実施する第三者監査	1.00%
自己評価アンケート	0.50%
該当なし	0.00%

質問の最大スコア	2.50%
----------	-------

指標の最大スコア	10.00%
----------	--------

20. 御社の製品には、以下のいずれかの原材料が含まれますか?該当するものすべてにチェックを入れてください。

アルミニウム/ボーキサイト	0.00%
クロム	0.00%
コバルト	0.00%
銅	0.00%
コットン	0.00%

ガラス ² ケイ砂 ²	0.00%
金	0.00%
黒鉛 ² 天然 ²	0.00%
革	0.00%
リチウム	0.00%
マグネシウム	0.00%
マンガン	0.00%
マイカ ² 雲母 ²	0.00%
モリブデン	0.00%
ニッケル	0.00%
ニオブ	0.00%
パラジウム	0.00%
プラチナ	0.00%
ポリシリコン	0.00%
レアアース ² 希土類元素 ²	0.00%
ロジウム	0.00%
天然ゴム	0.00%
鋼/鉄	0.00%
タンタル	0.00%
スズ	0.00%
タングステン	0.00%
亜鉛	0.00%
該当なし	5.80%

質問の最大スコア	4.35%
----------	-------

20a. 御社には、これらの原材料の責任ある調達に関するポリシーがありますか ²	はい	4.35%
	いいえ	0.00%

質問の最大スコア	4.35%
----------	-------

21. 御社には責任ある原材料調達に関するマネジメントシステムがありますか、またはサプライチェーン・マッピングを実施していますか ²	はい	1.45%
	いいえ	0.00%

質問の最大スコア	1.45%
----------	-------

指標の最大スコア	5.80%
----------	-------